NEC

NEC プロジェクター

ViewLight®
ビューライト

NP-ME403UJL / NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL

取扱説明書［詳細版］

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

取扱説明書の最新版は、当社ホームページに掲載しています。
https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html

目次

はじめに …… 4
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください …… 5
本書の表記について …… 18

1. 製品概要、添付品、名称を確認する …… 19
1-1. 特長 …… 19
1-2. 添付品の確認 …… 21
1-3. 本体各部の名称 …… 22
1-4. リモコン各部の名称 …… 29

2. 映像を投写する（基本操作） …… 34
2-1. 映像を投写する流れ …… 34
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する …… 35
2-3. 本機の電源を入れる …… 37
2-4. 入力信号を選択する …… 39
2-5. コンピューターの映像を自動調整する …… 41
2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する …… 42
2-7. 台形歪みを調整する（台形補正） …… 46
2-8. 本機の音量を調整する …… 48
2-9. 本機の電源を切る …… 49
2-10. 移動するときは …… 50

3. 便利な機能 …… 51
3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート） …… 51
3-2. 動画を静止画にする（静止） …… 51
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大） …… 52

4. ビューワー（USB-A）を使用する …… 53
4-1. ビューワーでできること …… 53
4-2. USB メモリー内の画像を投写する（基本操作） …… 54

5. オンスクリーンメニュー …… 56
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …… 56
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 59
5-3. 表示 …… 62

5-4. 色彩調整 67
5-5. 設定 68
5-6. 拡張設定 73
5-7. USB-A 85
5-8. インフォメーション 87

6. 機器と接続する 88
6-1. コンピューターや映像機器と接続する 88
6-2. 有線 LAN と接続する 91
6-3. 無線 LAN と接続する 92

7. ネットワークに接続する 94
7-1. ネットワークに接続してできること 94
7-2. MultiPresenter アプリで接続する 94
7-3. 本機の HTTP サーバーに接続する 96

8. 本体のお手入れ／ランプとフィルターの交換 101
8-1. フィルターの清掃 101
8-2. レンズの清掃 104
8-3. キャビネットの清掃 105
8-4. ランプとフィルターの交換 106

9. 付　録 113
9-1. 投写距離とスクリーンサイズ 113
9-2. 対応解像度一覧 122
9-3. 仕様 124
9-4. 外観図 127
9-5. ASCII コントロールコマンドについて 131
9-6. インジケーター表示一覧 133
9-7. 故障かな？と思ったら 135
9-8. トラブルチェックシート 141
9-9. 別売品 143

保証と修理サービス（必ずお読みください） 144
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター 裏表紙

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

● 本書で説明している機種名

NP-ME403UJL
NP-ME423WJL
NP-MC393WJL
NP-MC453XJL

● 機種名について

本機に貼付している銘版では、機種名を「NP-ME403U」、「NP-ME423W」、「NP-MC393W」、「NP-MC453X」と表記しています。
取扱説明書では、機種名に「JL」を付けて表記しています。

● プロジェクターのイラストについて

NP-ME403UJL と NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL は、本体の前面の形状が異なります。本書のイラストは、NP-ME403UJL を主にして記載しています。

[注意]
（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© Sharp NEC Display Solutions, Ltd. 2023
2024 年 12 月　5 版
シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などはできません。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

必ず行う

プロジェクターは日本国内専用です

- このプロジェクターは、交流 100 ボルトで使用してください。添付の電源コードは国内使用専用です。

禁止

電源コードの取り扱い

- このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

感電注意

- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - コードの上に重い物をのせない
  - コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - コードの上を敷物などで覆わない
  - コードを傷つけない、加工しない
  - コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - コードを加熱しない

  電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

禁止

通風口について

- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
  プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として吸気口は 10cm 以上、排気口も 10cm 以上あけてください。
- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
- 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

高温注意

警告

必ず行う

禁止

水ぬれ禁止

プラグを抜く

プロジェクターの設置

- このプロジェクターは、交流 100 ボルト , 50/60Hz の電源で使用するように設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですのでしないでください。
- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - 暖房の近くや振動の多い所
  - 屋外および湿気やほこりの多い場所
  - 油煙や湯気の当たるような場所
  - 調理台や加湿器のそば
- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。
  またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。
  火災・感電の原因となります。
  - 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない。
  - 風呂やシャワー室で使用しない。
  - プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない。
  - プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない。

  万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。
- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。
  万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。

プラグを抜く

故障したときは電源プラグを抜く

- プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
  お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

警告

分解禁止

プロジェクターの分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ依頼してください。

注意

天吊り設置

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店に相談してください。
  お客様による設置は絶対にやめてください。落下してけがの原因となります。
  プロジェクターの天吊りは、プロジェクターを吊り下げるために十分な強度を必要とし、さらに国の建築基準法に従わなくてはなりません。また、プロジェクター本体や天井用取付けユニットおよび取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。
- 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。

禁止

高温注意

プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない

- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

プラグを抜く

ランプ交換は電源を切ってから

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1 時間おいてから作業してください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は106 ページをご覧ください。

警告

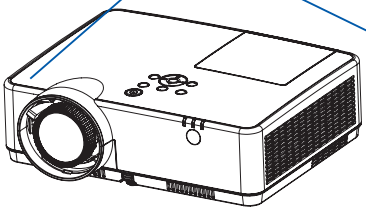
禁止

プロジェクターの光源について

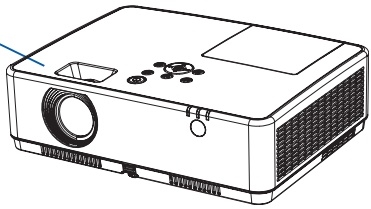
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。
  特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様に一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次の図記号を表示しています。
  この図記号は、このプロジェクターが IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。

RG2

明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。
RG2 IEC 62471-5:2015.



NP-ME403UJL



NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL

禁止

プロジェクターの清掃時

- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない

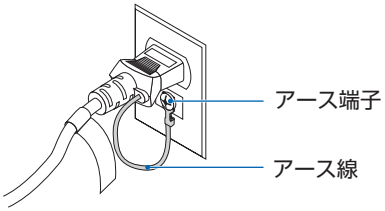
- 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

注意

必ず行う

機器のアース線はコンセントのアース端子に確実に接続する

- 本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
  プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてから外してください。



必ず行う

ぬれた手でさわらない

プラグを抜く

電源コードの取り扱い

- プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続が緩むと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- プロジェクターをお手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクターを移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、移動してください。
- 長期間、プロジェクターを使用しないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

禁止

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- プロジェクターの LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。
  LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

必ず行う

フォーカス、ズームの操作

- フォーカス、ズームの調整はプロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

禁止

電池の取り扱い

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
  - 指定以外の電池は使用しない。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
  - 電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。

禁止

プロジェクターの持ち運び

- プロジェクターを持ち運ぶとき、次の部分に注意してください。
  - レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
  - キャビネットとレンズの隙間に手をかけると、プロジェクターが破損して落下し、けがの原因となることがあります。
  - フィルターカバーを外したあとのくぼみを持って運ばないでください。キャビネットが破損してプロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。

必ず行う

プロジェクターの点検・本体内部の清掃

- １年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に清掃すると、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

⚠注意

必ず行う

温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける

- 以下の使用環境・保存環境で本機をご使用、保存ください。
  守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。
  - 動作温度：5 ～ 40℃
  - 動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）
  - 保存温度：－ 10 ～ 50℃
  - 保存湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

電波障害に関する注意事項

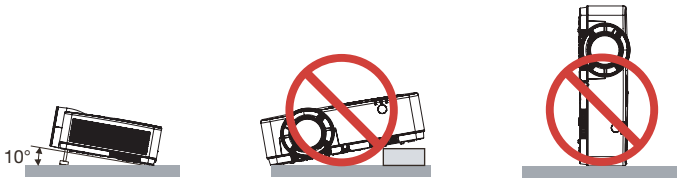
この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。
それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。
詳しくは、本書の「6. 機器と接続する」をご覧ください。

プロジェクターの性能確保のための注意事項

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。故障の原因となります。
  - 強い磁界が発生する場所
  - 腐食性のガスが発生する場所
- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- プロジェクターを傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



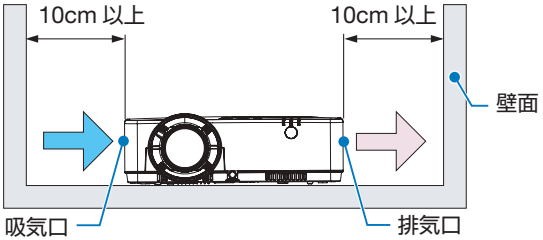
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約 1700m 以上の場所でプロジェクターを使用する場合は、必ず「高地モード」をオンにしてください。「高地モード」をオンにしないと、プロジェクター内部が高温になり、故障の原因となります。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
  - 添付のソフトケースに収納して運んでください。
    （※ソフトケースは、NP-ME403UJL と NP-ME423WJL のみ添付。）
  - レンズに傷が付かないように必ず添付のレンズキャップを取り付けてください。
  - 振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
  - ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。

チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。故障の原因となることがあります。
  電源コードを抜いたり AC 電源を切断したりする場合は、電源ボタンを押して、スタンバイ状態になる（電源インジケーターがオレンジ色で点灯または点滅する）まで待ってください。
- リモコンの取り扱いについて
  - リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  - リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
  - 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
  - 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
  - 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
  - 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID（コントロール ID）を設定するなどして誤動作を防止してください。
  - 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
  - リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
  - リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
  - できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
  - 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。
また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



[注意]

- 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。また、後方は、目安として 10cm 以上、ケーブル類の取り付け作業をするにはさらに広い空間をあけてください。

ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風口から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気をしてください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換をしないでください。

廃棄について

- 地球環境保全と資源の有効活用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

  「製品リサイクルのご案内」について
  https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html

- ランプの廃棄について

  事業系（法人のお客様）：
  ランプには水銀が含まれています。ランプを廃棄する場合には、廃棄物処理法等に則り適正な処理をしてください。

  家庭系（個人のお客様）：
  ランプには水銀が含まれています。ランプを廃棄する場合には、お住まいの自治体（市町村）または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

天吊り設置の注意事項

次のような場所には設置しないでください。キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、落下、および故障の原因となります。

- 屋外および湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気の当たるような場所
- 腐食性のガスが発生する場所

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能（1）、（2）を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを経由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して（1）、（2）の設定を変更してください。

（1）スタンバイモード（初期設定：ノーマル）
　外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に変更してください。（→ 68 ページ）

（2）パワーマネージメント（初期設定：待機）
　外部機器から制御する場合は「オフ」に設定してください。（→ 80 ページ）

[注意]

- 「パワーマネージメント」のモードを「待機」または「シャットダウン」に設定していると、同設定の「タイマー」および「待機秒読み」で設定している時間内に入力信号がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源が切れます。

有線 LAN に関するご注意

本機の LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。
そのため LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

投写する映像の著作権について

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

商標について

- ViewLight、ビューライト、MultiPresenter、NaViSet Administrator 2 は、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Apple、Mac、MacBook は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品添付 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダー内の readme.pdf をご参照ください。

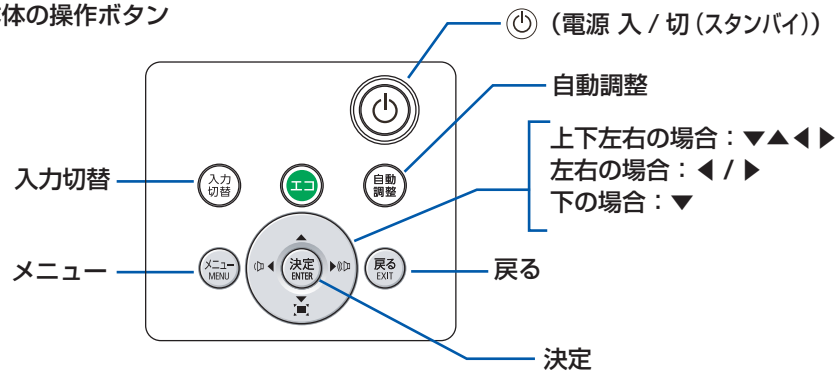
本書の表記について

マークの意味

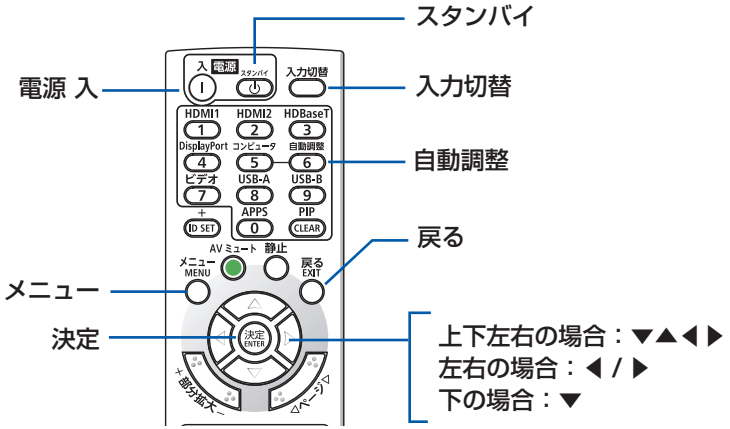
[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
適応機種	機種によって異なることを表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

● 本体の操作ボタン



● リモコンの操作ボタン



[参考]

● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

● 液晶方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	解像度	アスペクト比
NP-ME403UJL	4000lm	WUXGA（1920 × 1200 ドット）	16:10
NP-ME423WJL	4200lm	WXGA（1280 × 800 ドット）	16:10
NP-MC393WJL	3900lm	WXGA（1280 × 800 ドット）	16:10
NP-MC453XJL	4500lm	XGA（1024 × 768 ドット）	4:3

注：上記の明るさは、ブースト時の数値です。

■ 設置

● 自動台形補正

本機のオンスクリーンメニューの「拡張設定」→「オートセットアップ」→「オートキーストーン」を「オン」にすると、本機の傾きを感知して、投写された映像の垂直方向の台形歪みを自動的に調整することができます。本機の工場出荷時は「オートキーストーン」が「オフ」に設定されています。

● 豊富な台形補正機能

本機は、豊富な台形補正機能※（水平 / 垂直台形補正、4 コーナー補正、6 コーナー補正、湾曲スクリーン補正、グリッドイメージ調整）を搭載しており、平面ではないスクリーンに投写することができます。

※ 6 コーナー補正、湾曲スクリーン補正、グリッドイメージ調整は、NP-ME403UJL のみ搭載しています。

● 16 ワットのモノラルスピーカー内蔵

会議室や教室で視聴していただけるように、16 ワットのモノラルスピーカーを内蔵しています。

■ 映像

● HDMI 2 系統、コンピューター（アナログ）、ビデオなどの豊富な入力端子

HDMI 2 系統、コンピューター（アナログ）、ビデオなど、豊富な入力端子を装備しています。

本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しています。

● USB メモリーに保存した画像を投写できるビューワー機能

画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションができます。

■ ネットワーク

● 有線 LAN ／無線 LAN 対応

LAN ポート（RJ-45）を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機を制御できます。

[注意]

- 無線 LAN を使用する場合は、別売の無線 LAN ユニット（型名：NP05LM3）をお買い求めください。
- 無線 LAN のときは、本機を簡易アクセスポイントとして接続します。インフラストラクチャー接続はできません。

● MultiPresenter アプリケーションに対応

当社の MultiPresenter アプリケーションに対応しており、ネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）経由でマルチ画面投写ができます。
MultiPresenter アプリケーションのダウンロードは、当社ホームページをご覧ください。

https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html

● Crestron Roomview® に対応

本機は Crestron Roomview® に対応しています。コンピューターやコントローラーから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

■ 省エネ

● スタンバイ時の消費電力が 0.2 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定（本機の初期設定）すると、スタンバイ時の消費電力が 0.2 ワットになります。

● 動作中の消費電力を抑えるエコモード

オンスクリーンメニューのエコモードを「ECO1」または「ECO2」に設定すると、ランプの輝度を下げて消費電力を抑えることができます。

● 設定した時間内に信号入力や操作がない場合に、自動的にランプを消灯

オンスクリーンメニューのパワーマネージメントを「待機」（本機の初期設定）または「シャットダウン」に設定すると、設定した時間内に信号入力や操作がない場合に、自動的にランプを消灯したり電源をオフにしたりして消費電力を抑えることができます。

■メンテナンス

● ランプ交換時間が最大 20,000 時間

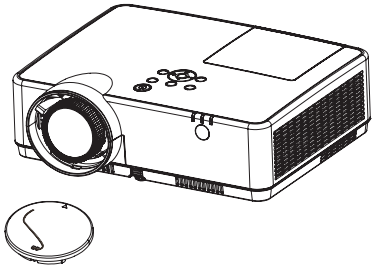
エコモード（ECO2）を設定して使用すると、ランプ交換時間※が最大 20,000 時間に延びます。

※ 保証時間ではありません。設置する環境によっては短くなります。

1-2. 添付品の確認

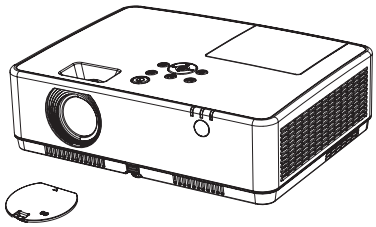
添付品の内容をご確認ください。

NP-ME403UJL

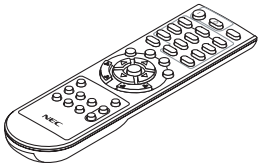


プロジェクター（本機）
レンズキャップ（440092200）

NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL

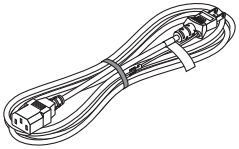


プロジェクター（本機）
レンズキャップ（440092100）

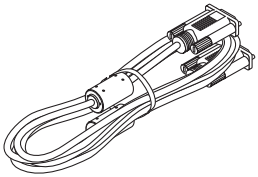


リモコン（393004810）

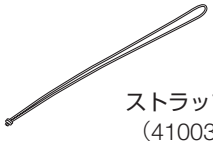
単 4 乾電池（リモコン用）2 本



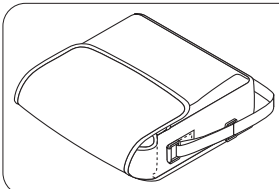
電源コード（アース付き）
（310004700）



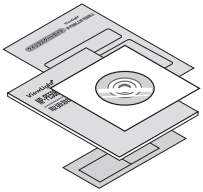
コンピューターケーブル
（ミニ D-Sub15 ピン）
（310002200）



ストラップ　1 本
（410035000）



ソフトケース（24BS8391）
※ NP-ME403UJL と NP-ME423WJL のみ添付。



CD-ROM（取扱説明書［詳細版］）（510048502）
取扱説明書［簡易版］（510048801）
クイックスタートガイド（510049001）
保証書

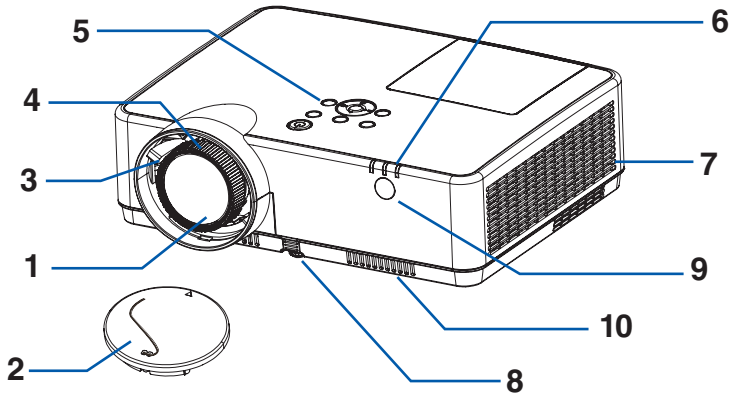
[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部

適応機種	NP-ME403UJL



1 レンズ
ここから映像が投写されます。

2 レンズキャップ
レンズを保護します。投写中は必ず外してください。

3 ズームレバー
投写した画面の大きさを調整します。(→ 44 ページ)

4 フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。(→ 43 ページ)

5 本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(→ 25 ページ)

6 インジケーター
インジケーターは、本機の動作状態を知らせます。(→ 26 ページ , 133 ページ)

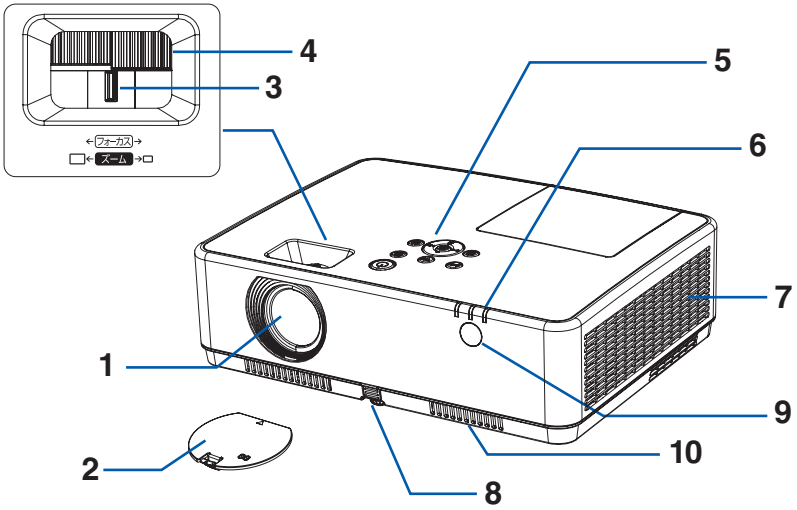
7 排気口
内部の熱を排気します。

8 チルトボタン、チルトフット
チルトボタンを押すと、チルトフットを伸縮します。(→ 45 ページ)

9 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と後面の 2 箇所にあります。(→ 33 ページ)

10 吸気口
外気を取り込み本体内部を冷却します。

適応機種 NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL



1 レンズ
ここから映像が投写されます。

2 レンズキャップ
レンズを保護します。投写中は必ず外してください。

3 ズームレバー
投写した画面の大きさを調整します。(→ 44 ページ)

4 フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。(→ 43 ページ)

5 本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(→ 25 ページ)

6 インジケーター
インジケーターは、本機の動作状態を知らせます。(→ 26 ページ , 133 ページ)

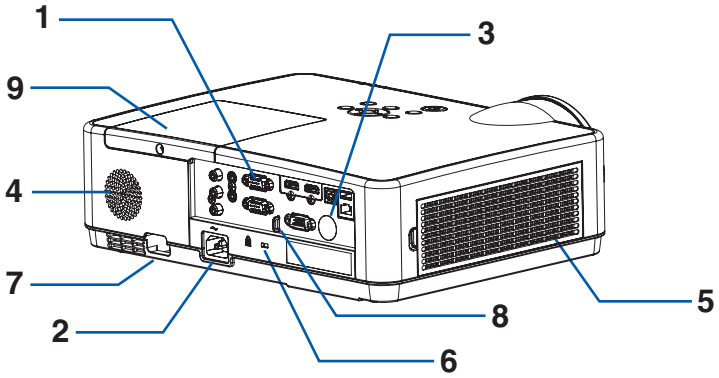
7 排気口
内部の熱を排気します。

8 チルトボタン、チルトフット
チルトボタンを押すと、チルトフットを伸縮します。(→ 45 ページ)

9 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と後面の 2 箇所にあります。(→ 33 ページ)

10 吸気口
外気を取り込み本体内部を冷却します。

本体後部



1 接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。（→ 27 ページ）

2 AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。（→ 36 ページ）

3 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。（→ 33 ページ）

4 スピーカー（モノラル）
HDMI1/2 入力端子および音声入力端子から入力された音声を出します。（→ 48 ページ）

5 吸気口（フィルターカバー）
外気を取り込み本体内部を冷却します。
また、フィルターにより内部にほこりやゴミが入るのを防止します。（→ 101 ページ）

6 セキュリティスロット（ ）
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下の［参考］をご覧ください。

7 セキュリティバー
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。
セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。

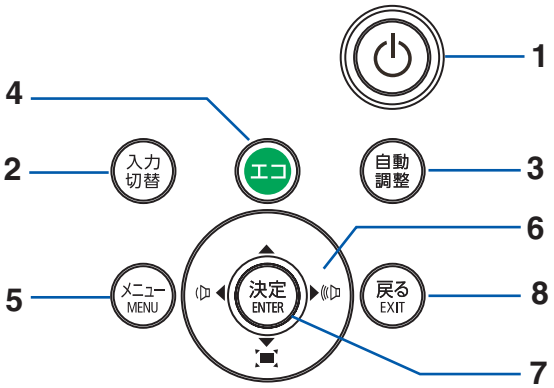
8 ストラップ取り付け穴
無線 LAN ユニットの落下や盗難を防止するため、添付のストラップを通します。

9 ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。（→ 106 ページ）

［参考］

- **セキュリティスロットについて（ ）**
  セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部



1 ⏻ **ボタン（電源ボタン）**
本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。
電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 ⏻ ボタンを押します。

2 入力切替 ボタン
入力端子画面を表示します。

3 自動調整 ボタン
コンピューター入力信号の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（→ 41 ページ）

4 エコ ボタン
エコモードを切り替えます。（→ 69 ページ）

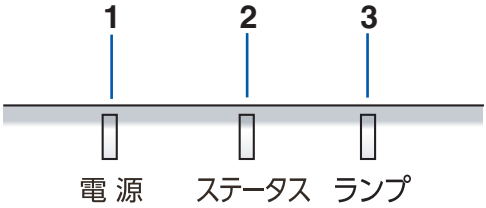
5 メニュー ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（→ 56 ページ）

6 ▼▲◀▶ボタン
- オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、◀（🔉）/ ▶（🔊）ボタンを押すと、音量を調整できます。（→ 48 ページ）
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▼（⬛）ボタンを押すと、台形補正メニューを表示します。（→ 46 ページ）

7 決定 ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進み、選択項目を決定します。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

8 戻る ボタン
オンスクリーンメニューのメインメニューアイコンにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。サブメニューにカーソルがあるときは、メインメニューアイコンに戻ります。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

インジケーター



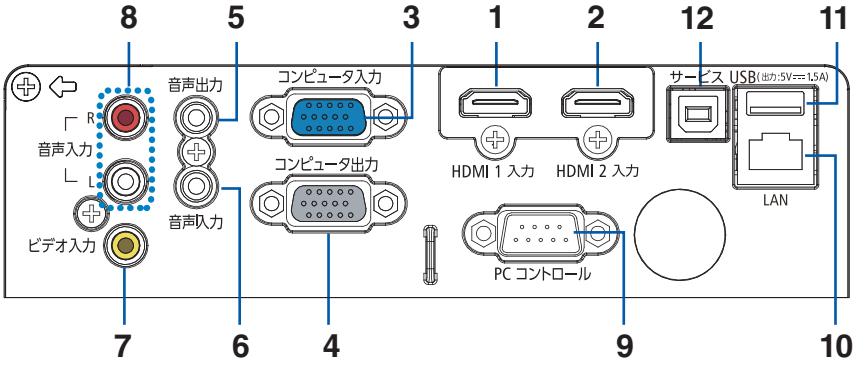
1 電源 インジケーター
本機の電源の状態を表すインジケーターです。
電源が入っているときは青色に点灯します。
スタンバイ時は、状態によってオレンジ色または緑色で点灯／点滅します。

2 ステータス インジケーター
キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。

3 ランプ インジケーター
ランプの交換時期がきたときやエコを選択していることをお知らせします。

[参考]
● 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。(→ 133 ページ)

接続端子部



1 HDMI 1 入力端子（タイプ A）
ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

2 HDMI 2 入力端子（タイプ A）
ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

3 コンピューター映像入力端子（ミニ D-Sub15 ピン）
コンピューターのディスプレイ出力端子と接続します。（→ 36 ページ）

4 モニター出力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）
コンピューター映像入力端子の映像信号を出力します。（→ 88 ページ）
- スタンバイモードが「スリープ」のときは、本機がスタンバイ状態のときでもモニター出力が働きます。

5 音声出力端子（ステレオ・ミニ）
本機から投写されている映像の音声入力端子の音声信号を出力します。
- 本機の音声出力端子は、ヘッドホン用端子ではありません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

6 音声入力端子（ステレオ・ミニ）
コンピューターまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

7 ビデオ映像入力端子（RCA- フォノ）
ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。

8 ビデオ音声入力端子（RCA- フォノ）
ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。

9 PC コントロール端子（D-Sub 9 ピン）

コンピューターから本機を操作するときに使用します。

10 LAN ポート（RJ-45）

本機を有線 LAN に接続します。

- 本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザーを使用して本機を制御することができます。（→ 96 ページ）
- MultiPresenter アプリを使ってマルチ画面投写ができます。
- その他の制御機器を使って、本機を制御できます。

11 USB ポート（タイプ A）

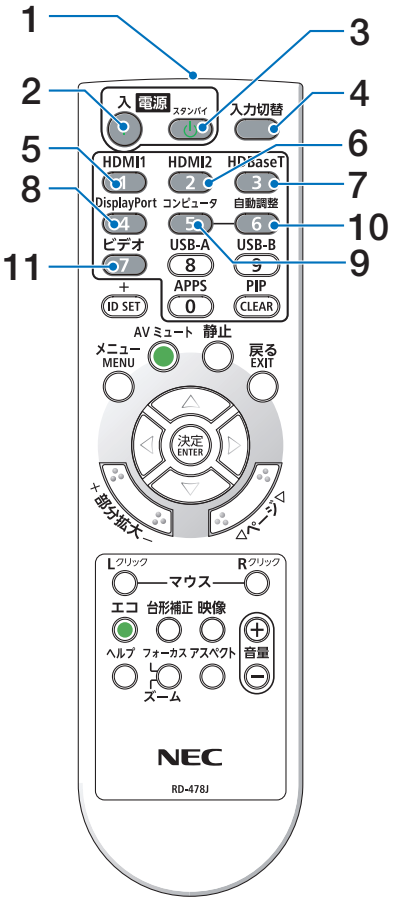
市販の USB メモリーや別売の無線 LAN ユニットを差します。

- 画像を保存した USB メモリーを差すと、ビューワー機能を使ってスライド投写ができます。
- 無線 LAN ユニットを差すと、本機で無線 LAN が利用できます。

12 サービスマン専用端子（タイプ B）

お客様は使用できません。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部
赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源入（I）ボタン
スタンバイ時（電源インジケーターがオレンジ色※で点滅）に本機の電源を入れます。
（※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

3 電源スタンバイ（⏻）ボタン
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度スタンバイ ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 入力切替ボタン
入力端子画面を表示します。

5 HDMI 1 ボタン
HDMI 1 入力を選択します。

6 HDMI 2 ボタン
HDMI 2 入力を選択します。

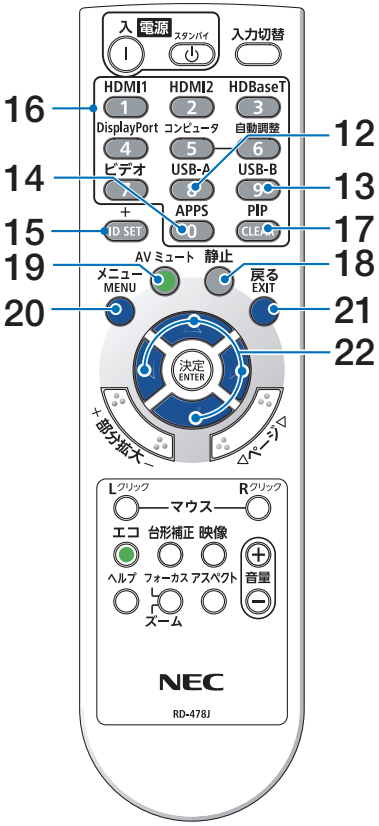
7 HDBaseT ボタン
（本機では使用できません）

8 DisplayPort ボタン
（本機では使用できません）

9 コンピュータボタン
コンピューター入力を選択します。

10 自動調整ボタン
コンピューター入力信号の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（→ 41 ページ）

11 ビデオボタン
ビデオ入力を選択します。



12 USB-A ボタン

ビューワーを選択します。(→ 53 ページ)

13 USB-B ボタン

(本機では使用できません)

14 APPS ボタン

LAN を選択します。MultiPresenter のスタート画面に切り替わります。(→ 94 ページ)

15 ID SET ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(→ 82 ページ)

16 数字(0 ～ 9)入力ボタン

コントロール ID 設定のときの ID 入力に使用します。

CLEAR ボタンはコントロール ID 設定を解除する場合に使用します。

17 PIP ボタン

(本機では使用できません)

18 静止ボタン

表示されている画像が静止画になります。
もう一度押すと戻ります。

19 AV ミュートボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

20 メニューボタン

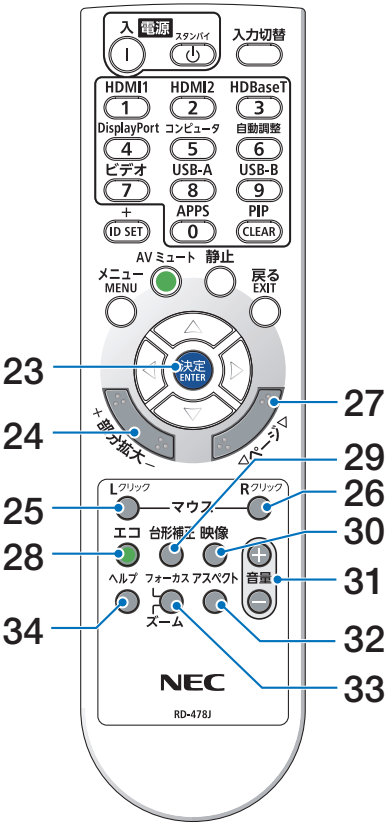
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

21 戻るボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

22 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作、部分拡大＋ / －ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整、およびビューワーのスライド画面の切り替えに使用します。



23 決定ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

24 部分拡大 ＋ / －ボタン
画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。
画面を拡大しているとき、▼▲◀▶ボタンで表示位置を移動することができます。

25 マウス L クリックボタン
（本機では使用できません）

26 マウス R クリックボタン
（本機では使用できません）

27 ページ ▽ / △ボタン
（本機では使用できません）

28 エコボタン
エコモードを切り替えます。（→ 69 ページ）

29 台形補正ボタン
台形補正メニューを表示します。（→ 46 ページ）

30 映像ボタン
イメージモードを切り替えます。（→ 67 ページ）

31 音量 ＋ / －ボタン
内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

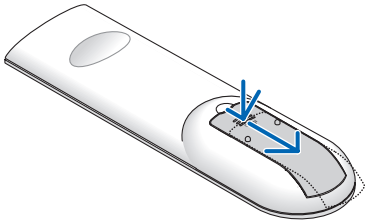
32 アスペクトボタン
アスペクトを切り替えます。（→ 63 ページ）

33 フォーカス / ズームボタン
（本機では使用できません）

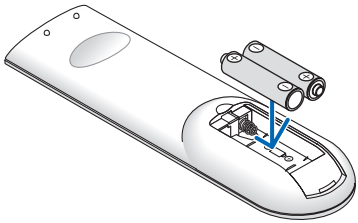
34 ヘルプボタン
インフォメーション画面を表示します。（→ 87 ページ）

電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

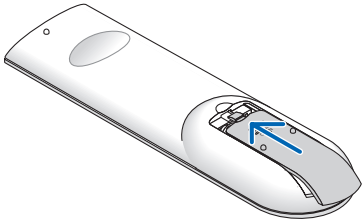


2. ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単 4 乾電池をセットする。



3. もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。



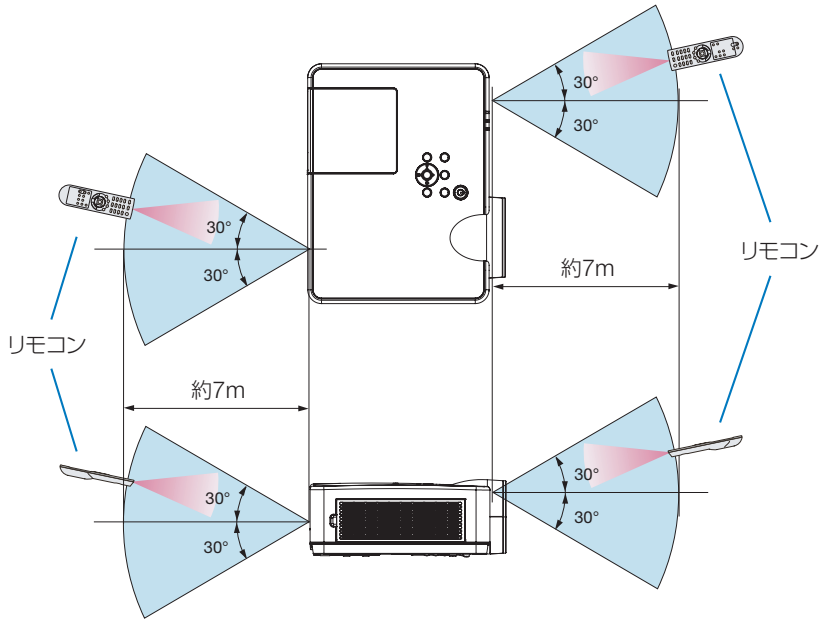
[注意]

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 4 乾電池をお買い求めください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

受光範囲



（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

[注意]

- リモコンの使用上の注意事項は、14 ページをご覧ください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ *1*	コンピューターと接続する／電源コードを接続する（→次ページ）
ステップ *2*	本機の電源を入れる（→ 37 ページ）
ステップ *3*	入力信号を選択する（→ 39 ページ）
ステップ *4*	投写画面の位置と大きさを調整する（→ 42 ページ） 台形歪みを調整する（→ 46 ページ）
ステップ *5*	本機の音量を調整する（→ 48 ページ）
ステップ *6*	プレゼンテーションをする
ステップ *7*	本機の電源を切る（→ 49 ページ）
ステップ *8*	移動するときは（→ 50 ページ）

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する。

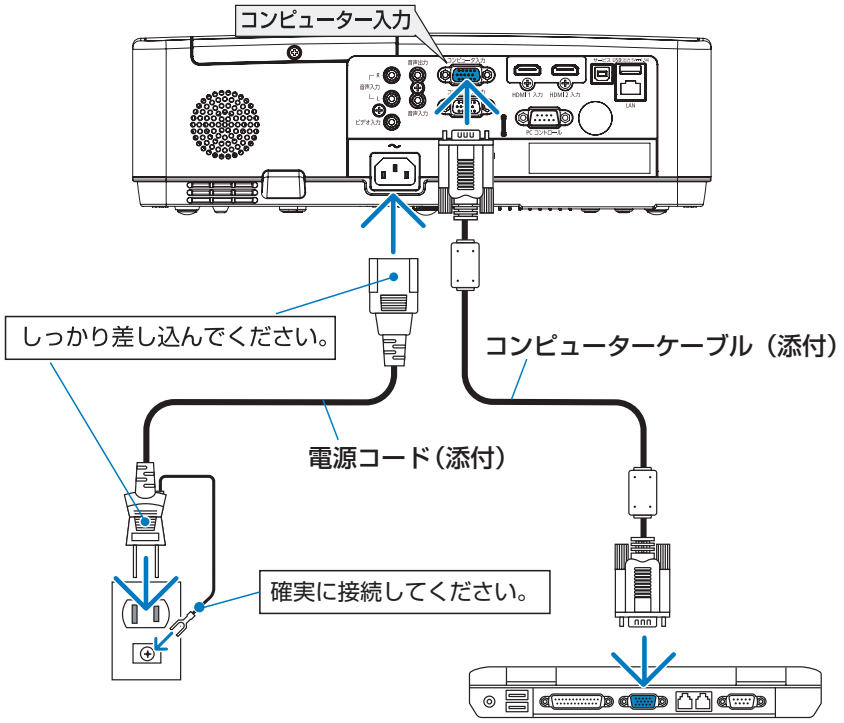
ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」→ 88 ページをご覧ください。
コンピューター側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピューター映像入力端子を、添付のコンピューターケーブルで接続しコネクターのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する。

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。
① 電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
② 電源コードのアース線を AC100V のコンセント（アース工事済み）のアース端子に接続する。
③ 電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込む。

⚠注意	● 本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。 ● プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。 プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 ● アース工事は専門業者にご依頼ください。 ● アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてから外してください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターがオレンジ色で点滅し、本機がスタンバイ状態になります。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）（→ 68 ページ）



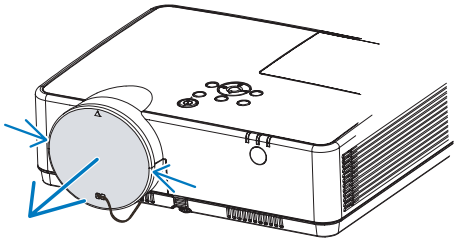
注意	電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

警告	プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

1. レンズキャップを取り外す。

レンズキャップの両端を押しながら手前に引いて外します。

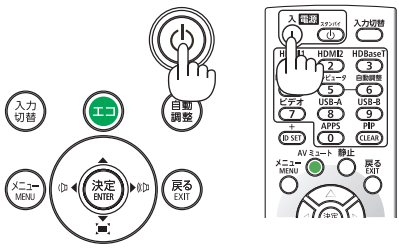


2. ⏻ ボタンを押す。

電源インジケーターが青色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源入ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（→ 43 ページ）

プロジェクター本体　　リモコン



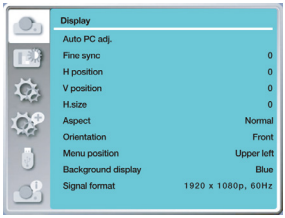
[注意]

- 次のような場合は、⏻ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ⏻ボタンを押している間にステータスインジケーターがオレンジ色に点灯する場合はキーロックが設定されています。キーロックを解除してください。（→ 71 ページ）

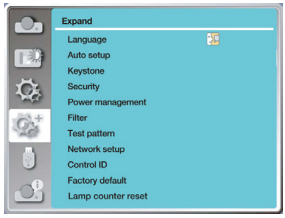
[参考]

- 本機のメニューやメッセージの表示言語は「英語」が初期値になっています。
  以下のように操作して、表示言語を「日本語」に変更してください。

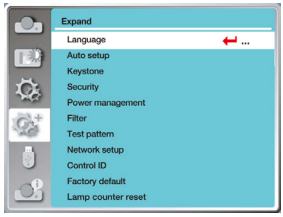
① リモコンまたは本体操作部でメニューボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。



② ▲/▼ ボタンを押して「Expand（拡張設定）」アイコンを選択し、決定ボタンまたは▶ボタンを押す。
「Expand（拡張設定）」メニューが表示されます。



③「Language」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。
表示言語一覧が表示されます。



④ ▲/▼ ボタンを押して「日本語」を選択し、決定ボタンを押す。

⑤ 戻るボタンを 3 回押す。
メニュー画面を消します。

2-4. 入力信号を選択する

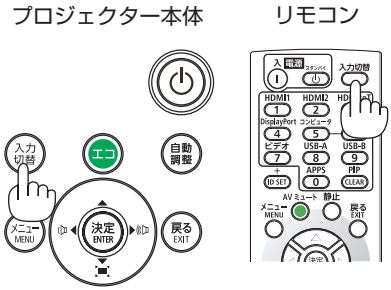
投写する信号を自動検出する

1. 本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。

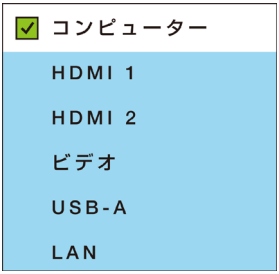
DVD プレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. 入力切替ボタンを押す。

画面の右上に入力端子画面が表示されます。



3. ▼/▲ボタンを押して投写する端子にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

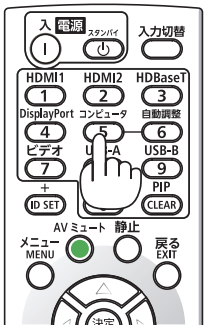


リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1. 本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。

DVD プレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. リモコンの HDMI 1、HDMI 2、コンピュータ、ビデオ ボタンを押す。



[参考]

- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
  DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
  ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
  - Windows のノートブックコンピューターの場合は、[Fn] キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] ＋ [F3]	NEC
[Fn] ＋ [F8]	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

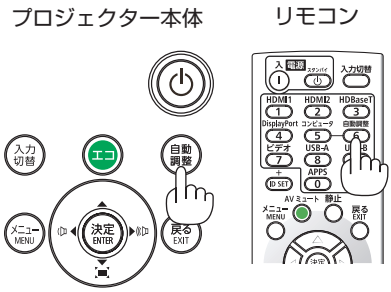
- Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定をします。
- それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。（→ 前ページ）

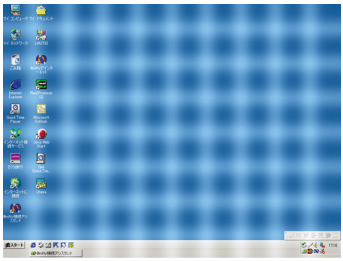
2-5. コンピューターの映像を自動調整する

コンピューター信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

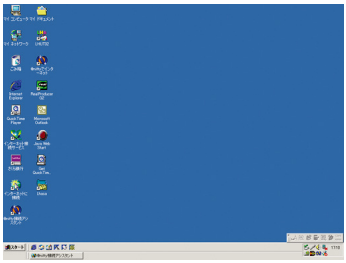
1. 自動調整ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。





映りが悪い画面の例



自動調整後の画面の例

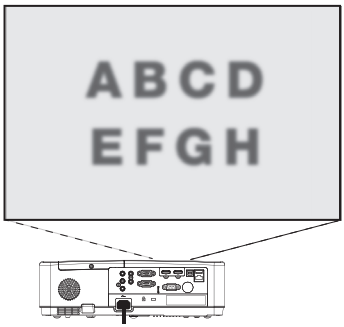
[参考]

- 信号によっては、表示に時間がかかる場合がります。また、正しく表示されない場合があります。
- 自動調整をしても表示位置がずれたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューの「トラッキング」、「水平位置」、「垂直位置」、「水平サイズ」で画面の調整をしてください。（→ 62 ページ）
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、139 ページを参照してください。
- オンスクリーンメニューの「オートセットアップ」で「自動 PC 調整」を「オフ」にすると、自動調整ボタンは働きません。

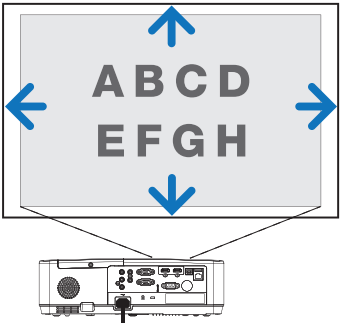
2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する

フォーカス、ズーム、チルトフットなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

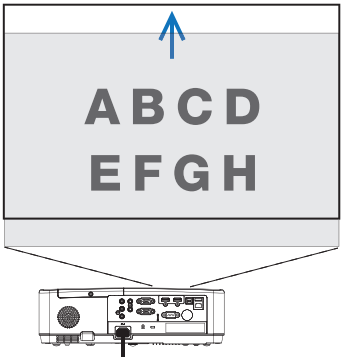
投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】（→ 次ページ）



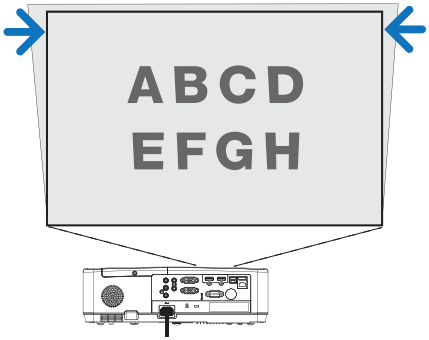
投写画面の大きさの調整
【ズームレバー】（→ 44 ページ）



投写画面の高低の傾き調整
【チルトフット】（→ 45 ページ）



投写画面の台形歪み補正
【台形補正】（→ 46 ページ）

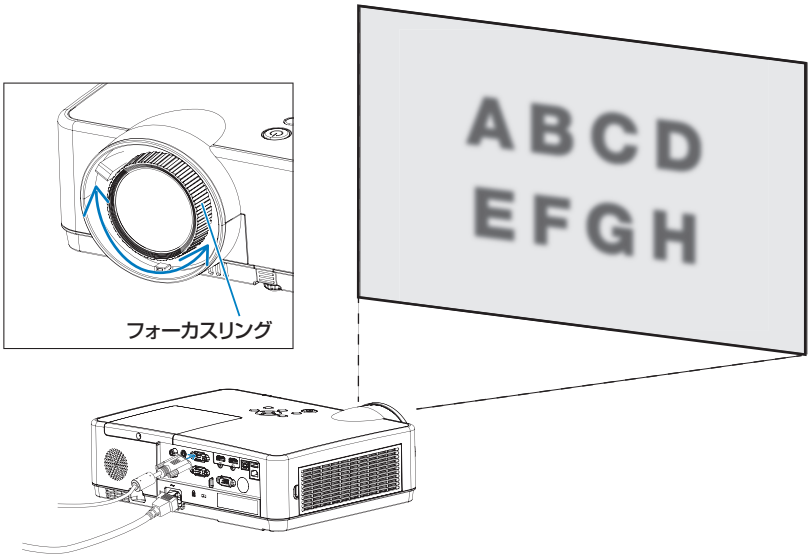


※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

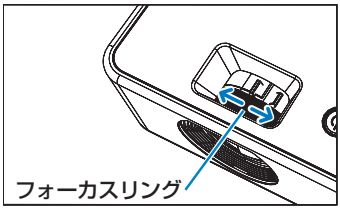
投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1. フォーカスリングを左右に回してピントを合わせる。

適応機種 NP-ME403UJL



適応機種 NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL



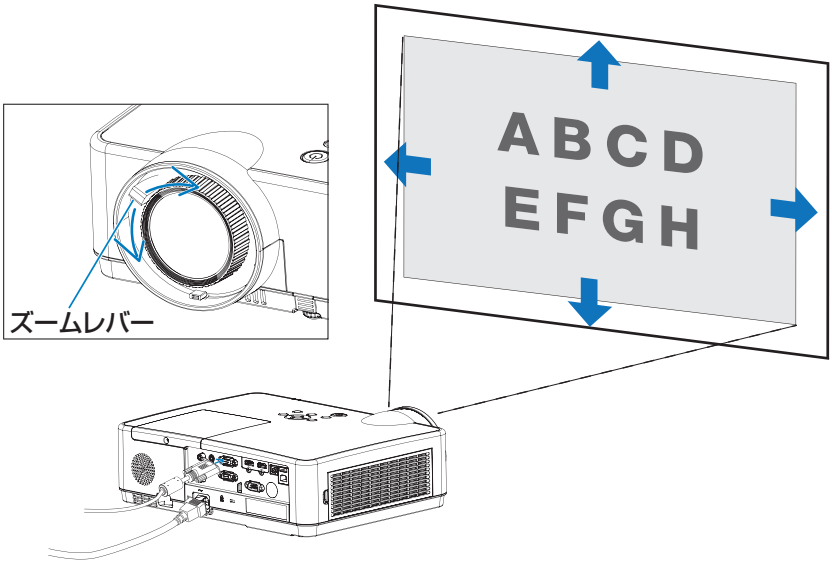
[参考]

- フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに調整することをおすすめします。
  テストパターンの表示については 60 ページをご覧ください。
- テストパターンを表示してフォーカス調整をする際は、イメージモードを「ダイナミック」にして調整することをおすすめします。（→ 59 ページ）

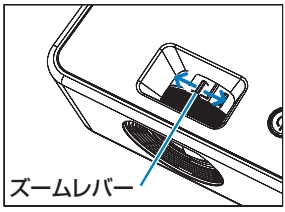
投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1. ズームレバーを左右に回す。

適応機種	NP-ME403UJL



適応機種	NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL



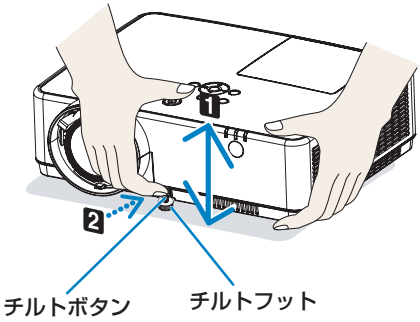
投写画面の高低の傾き調整（チルトフット）

1. プロジェクターの前部を持ち上げスクリーンに合わせる。

［注意］
- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際はご注意ください。

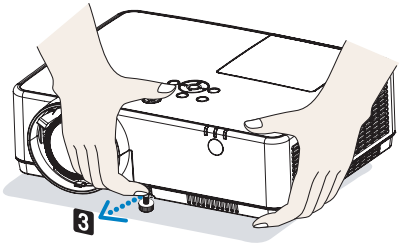
2. チルトボタンを押す。

チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。



3. 角度を固定したいところでチルトボタンから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。
- チルトフットは、最大 40mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、プロジェクターを最大 10° 傾けることができます。



［注意］
- チルトフットの調整中は排気口に触れないでください。プロジェクターがオンになっている 、またオフになった後も熱くなっている可能性があります。
- チルトフットは 40mm 以上伸ばさないでください。40mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-7. 台形歪みを調整する（台形補正）

台形補正機能を使用すると、投写画面の台形歪みを調整できます。ここでは「水平 / 垂直台形補正」機能の手順について説明します。

本機の台形補正機能の種類について

NP-ME403UJL は、以下のような 5 種類の台形補正機能を持っています。
その他の機種は、「水平 / 垂直台形補補正」、「4 コーナー補正」、および「リセット」が使用できます。

- 各補正機能を組み合わせて調整することはできません。
- 別の補正機能を選択すると、それまでの補正状態はリセットされます。
- 各補正機能について詳しくは、74 ページをご覧ください。
- 台形補正した状態は、本機の電源を切ったあとも保持します。台形補正した状態をもとに戻すには「リセット」を実行してください。

水平 / 垂直台形補補正	▲▼◀▶ボタンを使って水平方向および垂直方向の台形歪みを調整します。
4 コーナー補正	投写画面の 4 つ角について、各々▲▼◀▶ボタンを使って台形歪みを調整します。
6 コーナー補正	投写画面の 4 つの角に、上下の辺の中央 2 箇所を加えた合計 6 箇所について、各々▲▼◀▶ボタンを使って台形歪みを調整します。
湾曲スクリーン補正	曲面に投写したときの湾曲した歪みを調整します。
グリッドイメージ調整	投写画面に表示された複数の調整ポイントを選んで、歪み調整をします。
リセット	調整した状態をもとに戻します。

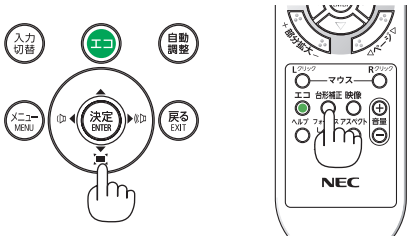
水平 / 垂直台形補正をする

1. 本体操作部の▼ボタンを押す。

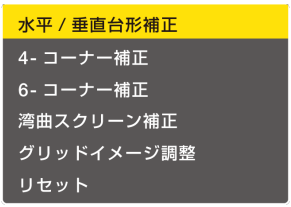
「台形補正」メニューが表示されます。

- リモコンで操作する場合は、台形補正 ボタンを押します。

プロジェクター本体　　リモコン



適応機種	NP-ME403UJL



適応機種	NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL

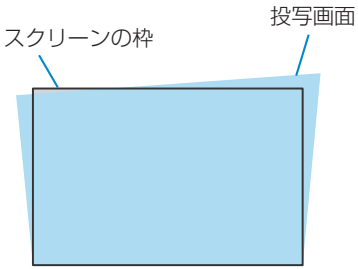
2.「水平 / 垂直台形補正」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。

投写画面の中央に「水平 / 垂直台形補正」画面が表示されます。

3.「水平 / 垂直台形補正」画面が表示されているときに◀ / ▶ボタンを押して、投写画面の左右の傾きを調整する。

- 調整した方向の「水平 / 垂直台形補正」画面内の三角マークが赤色になります。三角マークが白色の状態は調整がされていないことを表します。

- 「水平 / 垂直台形補正」画面が消えたら、もう一度本体操作部の▼ボタン（またはリモコンの台形補正ボタン）を押し、「水平 / 垂直台形補正」を選んで決定ボタンを押します。



4.「水平 / 垂直台形補正」画面が表示されているときに▲ / ▼ボタンを押して垂直方向の台形歪みを調整する。

5. 手順 3 と 4 を繰り返し、投写画面の台形歪みを調整する。

[参考]

- 水平 / 垂直台形補正の上限に達すると、三角マークが消えます。
- 調節可能な範囲は、信号入力のソースによって異なります。
- ビューワー使用時は、本体操作部の ▼ ボタンを押しても、台形補正メニューを表示できません。

2-8. 本機の音量を調整する

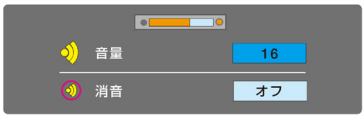
本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀ / ▶ボタンを押す。

音量調量バーが表示されます。

側	音量が大きくなります。
側	音量が小さくなります。



- 音声調整バーが表示されているときに、▲ / ▼ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。
  再び音声を出すには、音声調整バーが消えたあと、◀ / ▶ボタンを押します。

[注意]

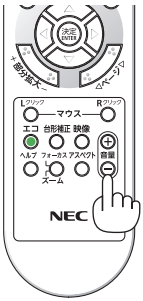
- オンスクリーンメニューが表示されているとき、および部分拡大＋ボタンで画面を拡大しているときは、◀ / ▶ボタンを使った音量調整はできません。

リモコンを使って調整する

1. リモコンの音量 ＋ / －ボタンを押す。

音量調量バーが表示されます。

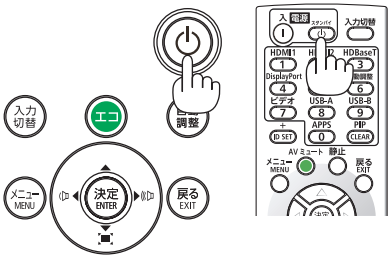
＋側	音量が大きくなります。
－側	音量が小さくなります。



- 音声調整バーが表示されているときに、▲ / ▼ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。
  再び音声を出すには、音声調整バーが消えたあと、音量 ＋ / －ボタンを押します。
- 音声調整バーが表示されているときは、◀ / ▶ボタンでも音量を調整できます。

2-9. 本機の電源を切る

プロジェクター本体　　リモコン



1. ⏻ ボタンを押す。

- リモコンで操作する場合は、電源スタンバイボタンを押します。

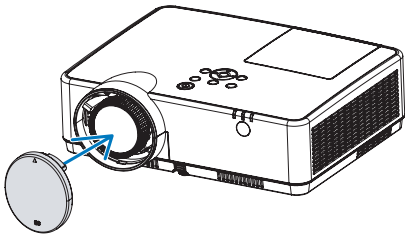
画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

2. もう一度 ⏻ ボタンを押す。

ランプが消灯し、電源が切れます。（スタンバイ状態）

- リモコンで操作する場合は、もう一度電源スタンバイボタンを押します。
- スタンバイ状態になると、電源インジケーターがオレンジ色で点滅します。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）
- 電源を切らない場合は、戻るボタンを押します。

3. レンズキャップを取り付ける。



注意	電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

[注意]

- 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。故障の原因となることがあります。
  電源コードを抜いたり AC 電源を切断したりする場合は、電源ボタンを押して、スタンバイ状態になる（電源インジケーターがオレンジ色で点灯または点滅する）まで待ってください。

[参考]

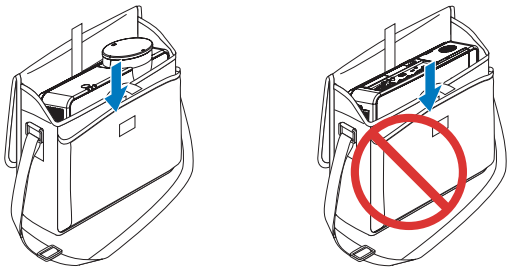
- エコモードを「ECO1」または「ECO2」に設定して使用していると、電源オフ確認メッセージの「今回の CO2 削減量」に表示されます。

2-10. 移動するときは

1. 電源コードを取り外す。
2. 各種信号ケーブル、USB メモリー、無線 LAN ユニットなどを取り外す。
3. チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

適応機種	NP-ME403UJL / NP-ME423WJL

4. プロジェクターおよび添付品をソフトケースに収納する。
   プロジェクターをソフトケースに収納するときは、次のようにレンズキャップのある面が上を向くように収納してください。



[注意]

- プロジェクターをソフトケースに収納するときは、チルトフットを縮めてください。故障の原因となります。
- ソフトケースは、NP-ME403UJL と NP-ME423WJL のみ添付しています。

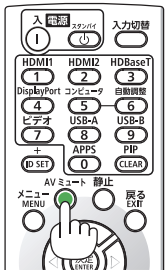
3. 便利な機能

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）

1. リモコンの AV ミュートボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 AV ミュートボタンを押すと、映像と音声が出ます。



[参考]

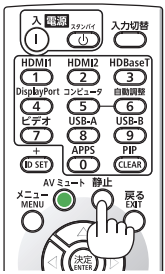
- 音声出力端子（ステレオミニ）からの音声もオフにできます。
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-2. 動画を静止画にする（静止）

1. リモコンの静止ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度静止ボタンを押すと、動画に戻ります。



[注意]

- 入力端子が LAN または USB-A のときは使用できません。

[参考]

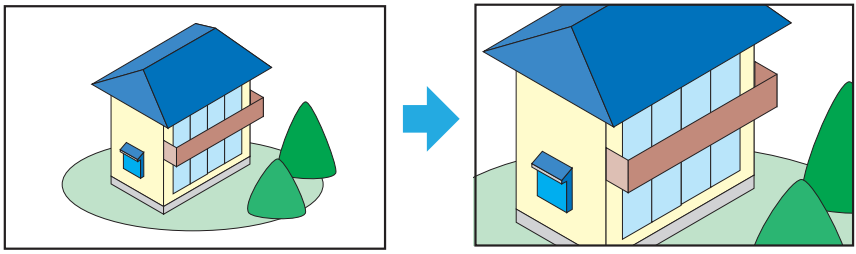
- 静止画にすると、そのときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1. リモコンの部分拡大 ＋ボタンを押す。

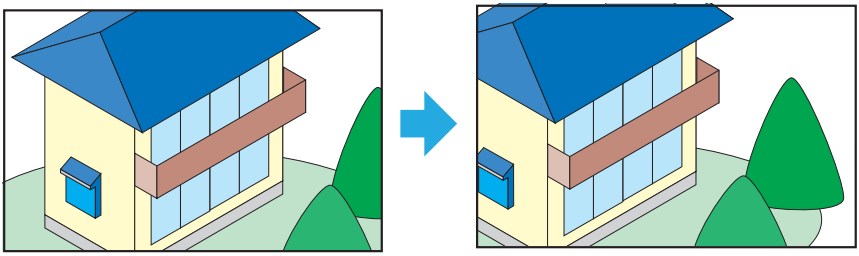
押すごとに映像が拡大します。

- 最大 4 倍まで拡大できます。



2. ▼▲◀▶ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。



3. 部分拡大 －ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

[注意]

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。
- 入力端子が LAN または USB-A のときは使用できません。

[参考]

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- リモコンのアスペクトボタンを押すか、オンスクリーンメニューの「表示」→「アスペクト」を選択してアスペクトを変更すると、部分拡大は解除されます。

4. ビューワー（USB-A）を使用する

4-1. ビューワーでできること

ビューワーには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションができます。
- ビューワーで投写できる画像の種類は、JPEG、PNG、BMP、GIF、および TIFF です。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドの再生）は、次の設定ができます。

スライド効果	スライドを切り替える方向（右／下）を設定します。
ソート順	スライドを切り替える順番（名前順／時間順／サイズ順／拡張子順）を設定します。
回転	画像の回転方向（90˚／180˚／270˚）を設定します。
ベネフィット	画面に対する画像の表示サイズを設定します。
リピート	スライドの最後が表示されたあとの動作を設定します。

[注意]

- ビューワー画面では、リモコンの部分拡大ボタン、静止ボタンは使用できません。
- USB メモリーについて
  - 本機のビューワーで使用する USB メモリーは、FAT32 形式でフォーマットしてください。
  - 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーを認識できません。
  - 本機に差した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
  - フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
  - 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- 対応画像について

  ビューワーで投写できる画像は次のとおりです。

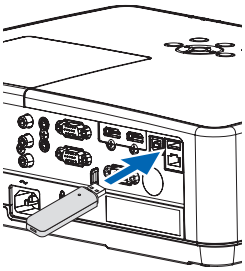
拡張子	形式	説明
jpg/jpeg	ベースラインエンコーダー 24 プログレッシブ RGB24 ビット	最大解像度：10000x10000 最大解像度：パネル解像度
bmp	1、4、8 ビットパレットベース RGB24、32 ビット	最大解像度：1280X800
png	24、48 ビット、トゥルーカラー	
gif	1、4、8 ビットパレットベース	
tiff		

4-2. USB メモリー内の画像を投写する（基本操作）

ここでは、ビューワーの基本操作を説明します。ビューワーのオプションメニューについては 85 ページをご覧ください。

1. 本機の電源を入れる。

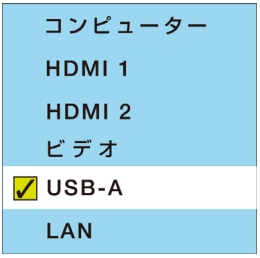
2. 本機の USB ポート（タイプ A）に USB メモリーを差す。



［注意］
- USB メモリーのコネクターの向きに注意して差してください。無理に押し込むと、故障の原因となります。

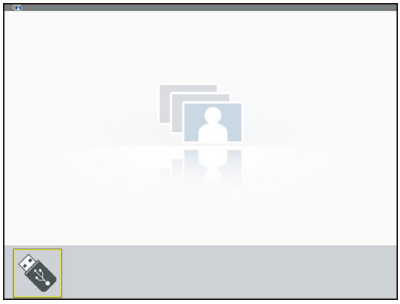
3. 入力切替ボタンを押す。

入力端子メニューを表示します。



4. ▼ / ▲ボタンを押して「USB-A」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

ビューワー画面に切り替わります。
- ビューワーを終了する場合は、入力切替ボタンを押して「USB-A」以外の端子を選択してください。

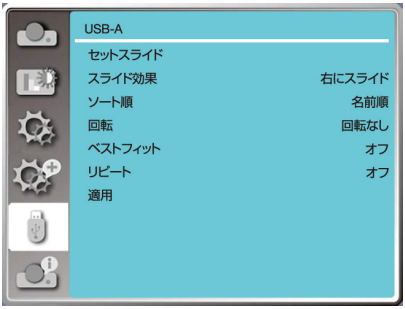


5. ビューワー画面で決定ボタンを押す。

USB メモリー内のフォルダーアイコンおよび画像アイコンが表示されます。

6. ビューワー画面でメニューボタンを押す。

USB-A メニューが表示されます。



7. メニューの「スライド効果」、「ソート順」、「回転」、「ベストフィット」、および「リピート」について必要な設定をする。

8. メニューの「適用」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

手順 7 で設定した内容が適用されます。

9. メニューの「セットスライド」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

スライド再生が開始されます。

- スライド再生を終了する場合は、戻るボタンを押します。

5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して操作します。以降「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

5-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体またはリモコンのメニューボタンを押します。また、メニューを消す場合は、戻るボタンまたはメニューボタンを押します。
ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. メニューボタンを押す。

- 戻るボタンまたはメニューボタンを押すと、メニューが消えます。
- 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。（メニュー位置 → 65 ページ）

2. ▼ / ▲ ボタンを押す。

- メインメニューアイコン（表示←→色彩調整←→設定←→拡張設定←→ USB-A ←→ インフォメーション）にカーソルが移動します。
- メインメニューアイコンが変わると、サブメニューも変わります。

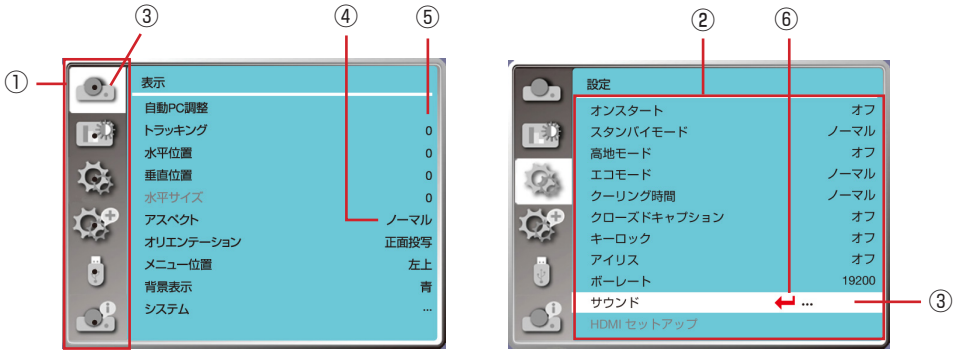
3. メインメニューアイコンにカーソルがある状態で、▶ または決定ボタンを押す。

サブメニューにカーソルが移動します。

- サブメニューからメインメニューアイコンに戻る場合は、◀または戻るボタンを押します。
- メニューボタンを押すと、メニューが消えます。

4. ▼ / ▲ ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。

サブメニューの右端に表示されているマークや項目名は、キー操作を表しています。



前ページのメニュー画面例の説明

① メインメニューアイコン
② サブメニュー
③ カーソル
④ 項目名が表示されているときは、決定ボタンを押し、▼ / ▲ボタンを押すと、候補が切り替わります。決定ボタンを押して候補を決定します。
⑤ 数字が表示されているときは、決定ボタンを押し、▼ / ▲ボタンを押すと、数値が増減します。決定ボタンを押して数値を決定します。
⑥ ↵ が表示されているときは、決定ボタンを押すと、下の階層のメニューを表示します。

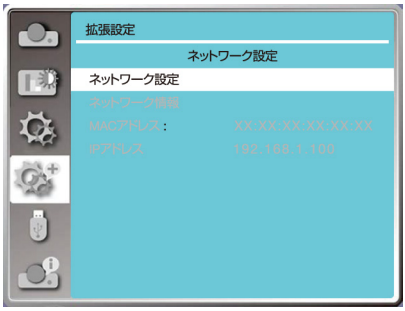
5-1-2. 確認メッセージ

調整値をリセットする場合などに確認メッセージが表示されます。
◀ / ▶ボタンを押して、「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

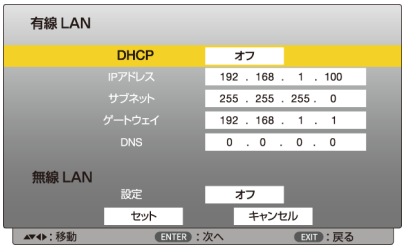
5-1-3. 数字の変更

メニューのネットワーク設定において、工場出荷時の IP アドレスやサブネットマスクなどを変更する場合について説明します。

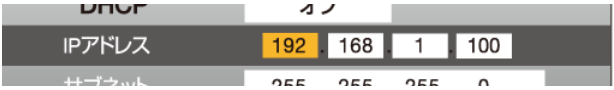
1. メニューボタンを押してオンスクリーンメニューを表示する。
2. ▼ / ▲ボタンで「拡張設定」アイコンにカーソルを合わせ、▶ または決定ボタンを押す。
サブメニューにカーソルが移動します。
3. ▼ / ▲ ボタンを押して「ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
ネットワーク設定メニューが表示されます。



4.「ネットワーク設定」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。
有線 LAN 設定画面が表示されます。



5. ▼ / ▲ ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
IP アドレスの一番左の入力欄がオレンジ色に変わります。



6. ▼ / ▲ボタンを押して数値を変更し、決定ボタンを押す。
IP アドレスの右隣りの入力欄がオレンジ色に変わります。

7. 手順 6 を繰り返し、IP アドレスを設定する。
一番右の入力欄で決定ボタンを押すと、IP アドレスの行がオレンジ色に変わります。

8. 同様に操作して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」「DNS」を設定する。

9. ▼ / ▲ ボタンを押して「セット」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

[注意]

- 「DHCP」が「オン」になっているときは「IP アドレス」を選択できません。
  その場合は次のように操作して「DHCP」を「オフ」に変更してください。
  ①「DHCP」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。
  「オン」の枠内がオレンジ色に変わります。
  ② ▼ / ▲ ボタンを押して「オフ」に切り替えて、決定ボタンを押す。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

　　は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー	サブメニュー・設定値		参照ページ
表示	自動 PC 調整		62
	トラッキング	0 – 31	
	水平位置	-5 – +5	
	垂直位置	-5 – +5	
	水平サイズ	（注：調整範囲は信号によって異なります。）	
	アスペクト	ノーマル、ワイド、フル、4:3（※ NP-ME453XJL を除く）	63
		ノーマル、ワイド、フル、16:10（※ NP-ME453XJL のみ）	
	オリエンテーション	正面投写、リア投写、天井 / 正面投写、天井 / リア投写、自動天井 / 正面投写、自動天井 / リア投写	64
	メニュー位置	左上、右上、センター、左下、右下	65
	背景表示	黒、青、ロゴ	
	システム		
色彩調整	イメージモード	標準、シネマ、黒（緑）板、カラーボード、イメージ、ダイナミック、イメージ	67
	コントラスト	0 – 63（32）	
	明るさ	0 – 63（32）	
	色温度	高、中、低、ユーザー	
	赤	0 – 63（32）	
	緑	0 – 63（32）	
	青	0 – 63（32）	
	画質	0 – 15（8）	
設定	オンスタート	オン / オフ	68
	スタンバイモード	ノーマル、スリープ、ネットワークスタンバイ	
	高地モード	オン / オフ	69
	エコモード	ノーマル、ECO1、ECO2、ブースト	
	クーリング時間	ノーマル、0 秒、30 秒	70
	クローズドキャプション		
	キーロック	オン / オフ	
	アイリス	オン / オフ	71
	ボーレート	4800、9600、19200、38400	
	サウンド	音量	0 – 25（13）
		消音	オン / オフ
	HDMI セットアップ	画像	自動、64–940、0–1023
		サウンド	HDMI、コンピューター

メインメニュー	サブメニュー・設定値			参照ページ
拡張設定	言語	English、Deutsch、Français、Italiano、Español、Svenska、Suomi、Norsk、Português、Nederlands、他		73
	オートセットアップ	入力検索	オン / オフ	
		自動 PC 調整	オン / オフ	
		オートキーストーン	オン / オフ	
	台形補正	台形補正	メモリー、リセット	74
		水平 / 垂直台形補正		
		4 – コーナー補正		
		6 – コーナー補正（※ NP-ME403UJL のみ）		75
		湾曲スクリーン補正（※ NP-ME403UJL のみ）		
		グリッドイメージ 調整（※ NP-ME403UJL のみ）		78
		リセット		
	セキュリティー	暗証番号ロック	オン / オフ	
		暗証番号変更		
	パワーマネージメント	待機、シャットダウン、オフ		80
		タイマー	1 – 30（5）	
		待機秒読み	0 – 30（5）	
	フィルター	フィルターカウンター		
		タイマー	オフ、500 時間、1000 時間、2000 時間	81
		フィルターカウンターリセット		
		フィルターチェック	オン / オフ	
	テストパターン	オフ、グレースケール（1–4）、カラーバー、赤、緑、青、クロスハッチ、ホワイト、黒、灰色のラスター		
	ネットワーク設定	ネットワーク設定	【有線 LAN】 DHCP（オン / オフ） IP アドレス サブネット ゲートウェイ DNS	
			【無線 LAN】 設定（オン / オフ）	
		ネットワーク情報		
		MAC アドレス		
		IP アドレス		
	コントロール ID	コントロール ID	オン / オフ	82
		コントロール ID 番号	1-254（1）	

メインメニュー	サブメニュー・設定値		参照ページ
拡張設定	初期設定		84
	ランプカウンターリセット		
USB-A	セットスライド		85
	スライド効果	下にスライド、右にスライド	
	ソート順	拡張子順、名前順、時間順、サイズ順	
	回転	回転なし、270˚、180˚、90˚	
	ベストフィット	オン / オフ	
	リピート	オン / オフ	
	適用		
インフォメーション	入力		87
	水平周波数		
	垂直周波数		
	ランプカウンター		
	モデル名		
	S/N		
	バージョン		
	SUBCPU		

5-3. 表示

5-3-1. 自動 PC 調整

コンピューター入力信号に応じて、「トラッキング」、「水平位置」、「垂直位置」、「水平サイズ」を最適な状態に調整します。

[注意]

- コンピューターの機種によっては、自動 PC 調整機能が正常に完了しない場合があります。
- 次の信号形式を選択した場合、自動 PC 調整が正常に完了しない場合があります。
  480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p、および HDMI 端子からの信号。

5-3-2. トラッキング／水平位置／垂直位置／水平サイズ

コンピューター入力信号について、次の調整をします。

トラッキング	投写画面がちらちらしたり、外枠がぼやけたりする場合、最良の状態になるように調整します。 調整範囲は、0 ～ +31 です。干渉が最小の状態になるように調整してください。
水平位置	投写画面を水平方向に移動します。 調整範囲は、-5 ～ +5 です。
垂直位置	投写画面を垂直方向に移動します。 調整範囲は、-5 ～ +5 です。
水平サイズ	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。 調整範囲は、信号によって異なります。

5-3-3. アスペクト

画面の縦横比を選択します。

ノーマル	入力信号のアスペクトは変更せず、最大サイズを使用して投写します。
ワイド	画像を 16:9 のアスペクト比で投写します。
フル	画像を最大限に投写します。
4:3	画像を 4:3 のアスペクト比で投写します。（※ NP-ME453XJL を除く）
16:10	画像を 16:10 のアスペクト比で投写します。（※ NP-ME453XJL のみ）

[参考]

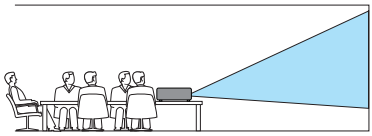
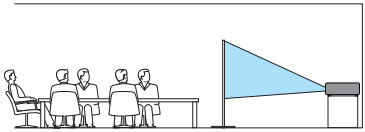
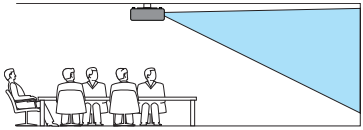
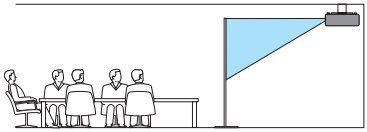
- コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
WXGA	1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA)	1366 × 768	約 16 : 9
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA+	1440 × 900	16 : 10
WXGA++	1600 × 900	16 : 9
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10
FHD (1080P)	1920 × 1080	16 : 9
UXGA	1600 × 1200	4 : 3
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10
4K	3840 × 2160	16 : 9

5-3-4. オリエンテーション

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。 落下してけがの原因となります。

正面投写	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの正面で投写する場合。 
リア投写	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの背面で投写する場合（半透明のスクリーンを使用）。 
天井 / 正面投写	天吊り金具（別売）を使用してスクリーンの正面でプロジェクターを高い位置に設置する場合。 
天井 / リア投写	天吊り金具（別売）を使用してスクリーンの背面でプロジェクターを高い位置に設置する場合（半透明のスクリーンを使用）。 

自動天井 / 正面投写	プロジェクターをスクリーンの正面で投写する場合。内蔵の角度センサーがプロジェクターの角度を自動的に検出したあと、【正面投写】または【天井 / 正面投写】に切り替えます。 正面投写の場合は、この項目を選択してください。
自動天井 / リア投写	プロジェクターをスクリーンの背面で投写する場合。内蔵の角度センサーがプロジェクターの角度を自動的に検出したあと、【リア投写】または【天井 / リア投写】に切り替えます。 リア投写の場合は、この項目を選択してください。

5-3-5. メニュー位置

オンスクリーンメニューの表示位置を変更します。

左上	メニューはスクリーンの左上コーナーに表示されます。
右上	メニューはスクリーンの右上コーナーに表示されます。
センター	メニューはスクリーンの中央に表示されます。
左下	メニューはスクリーンの左下コーナーに表示されます。
右下	メニューはスクリーンの右下コーナーに表示されます。

5-3-6. 背景表示

入力信号がないときに背景色を選択します。

青	投写エリア全体が青く表示されます。
黒	投写エリア全体が黒く表示されます。
ロゴ	投写エリア全体に NEC Projector の背景が表示されます。

[注意]

- 入力信号に USB-A および LAN を選択しているとき、この機能は無効になります。

5-3-7. システム

コンピューター入力信号を選択しているとき、本機で投写することができる信号の候補を表示します。
複数の信号の候補が表示される場合は、その中から選択することができます。

[注意]

- この機能は、コンピューター入力信号のときのみ有効です。

5-4. 色彩調整

5-4-1. イメージモード

投写した映像に最適な設定を選択します。

ダイナミック	明るい部屋での表示に適したモードです。
標準	自然な色にするモードです。本機の工場出荷時は「標準」が設定されています。
シネマ	映画を表示するときに適したモードです。
黒（緑）板	黒板または緑板に投写するときに適したモードです。
カラーボード	赤、青、黄、緑の壁面に投写するときに適したモードです。
イメージ	以下の色彩調整（コントラスト、明るさ、色温度、赤、緑、青、シャープネス）を変更すると「イメージ」と表示されます。

5-4-2. コントラスト

映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。

5-4-3. 明るさ

映像を明るくしたり、暗くします。

5-4-5. 色温度

赤、緑、青の各色の色味を調整します。

高	画面全体を青っぽくします。
中	画面全体を中間の色合いにします。
低	画面全体を黄色っぽくします。
ユーザー	次の「赤」、「緑」、「青」の値を個別に調整すると「ユーザー」と表示されます。

5-4-6. 赤／緑／青

画面全体の「赤」、「緑」、「青」の色合いを個別に調整します。

5-4-7. 画質

映像をくっきりしたり、やわらかくします。

5-5. 設定

5-5-1. オンスタート

本機に電源コードを接続したとき、または本機に電源が供給されたときの動作について設定します。

オフ	本機に電源コードを接続する、または本機に電源が供給されると、スタンバイ状態になります。電源を入れるには、電源ボタンを押します。
オン	本機に電源コードを接続する、または本機に電源が供給されると、自動的に本機の電源が入ります。

[注意]

- 電源を切ったあと、電源コードを抜いて約 20 秒間待ってから電源コードを接続してください。短時間に電源の切り入りや電源コードの抜き差しをすると、本機が正常に動作しない場合があります。

5-5-2. スタンバイモード

本機がスタンバイ状態のとき動作モードを選択します。

ノーマル	このモードでは電力消費量は「ネットワーク スタンバイ」または「スリープ」モードよりも低くなりますが、このモードを選択すると LAN ポートで本機を制御できません。 本機の電源をオンするには、本体操作部またはリモコンの電源ボタンを押してください。 PC コントロール端子を使用する場合は、電源オンコマンドが有効です。
ネットワーク スタンバイ	このモードの電力消費量は「ノーマル」モードよりは高くなりますが、LAN を介して「Wake on LAN」機能を使用するとスタンバイ状態から本機の電源をオンにできます。 「Wake on LAN」機能の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
スリープ	このモードの電力消費量は「ネットワーク スタンバイ」モードより高くなりますが、「ネットワーク スタンバイ」モードよりもすばやく LAN でスタンバイ状態から本機の電源をオンにできます。 アプリケーションソフトウェア NaViSet Administrator 2 を使用してプロジェクターを制御する場合は、[スリープ」モードを選択してください。

[注意]

- スタンバイモードを「ノーマル」にしていても、PC コントロール端子を使った電源のオン／オフはできます。
- ASCII コントロールコマンドは「ノーマル」と「ネットワークスタンバイ」では使用できません。ASCII コントロールコマンドを使用する場合は「スリープ」に設定してください。

5-5-3. 高地モード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。
本機を使用する場所の高度に応じて、冷却ファンの回転速度を変更します。

オフ	通常の速度で冷却ファンを回転します。使用する場所の標高が 1700m 以下のときに設定します。
オン	冷却ファンを高速で回転します。使用する場所の標高が 1700m ～ 3000m のときに設定します。

[注意]

- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ず「高地モード」を「オン」にしてください。「高地モード」を「オン」にしないと、本機の内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。

5-5-4. エコモード

ランプの電力を下げることにより、プロジェクターの消費電力を削減します。

ノーマル	通常の明るさでスクリーンに投写します。
ECO1	明るさを下げて、消費電力を削減します。
ECO2	ECO1 よりさらに明るさを下げて、消費電力を削減します。
ブースト	ノーマルより明るくなりますが、消費電力が増えます。

[参考]

- ECO1 または ECO2 を選択すると、ランプの電力を下げることにより、ランプ交換時間（目安）を延ばすことができます。（→ 106 ページ）

5-5-5. クーリング時間

本機の電源を切ったあとに冷却ファンを回転する時間を設定します。
冷却ファンが回転中は、電源インジケーターが緑色で点滅します。
冷却ファンが回転中は、電源コードを抜かないでください。

ノーマル	本機の電源を切ったあと、60 秒間、冷却ファンを回転します。
30 秒	本機の電源を切ったあと、30 秒間、冷却ファンを回転します。 冷却ファンの回転は「ノーマル」のときよりも高速になり、冷却ファンの音が大きくなります。
0 秒	本機の電源を切ったあと、冷却ファンを回転しません。

[注意]

- 0 秒に設定した場合、電源を切ったあとすぐにプロジェクターを再起動することはできません。ランプの冷却に時間がかかるため、ランプを再び点灯するまでに通常より時間がかかることがあります。

5-5-6. クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	字幕や文字を画面に表示しません。
CC1 ～ CC4	投写しているビデオ信号に対応している CC（クローズドキャプション）信号を選択します。

[注意]

- クローズドキャプションが無効な信号を投写しているときは、クローズドキャプションは選択できません。
- 画面にオンスクリーンメニューとタイマーが表示されていると、クローズドキャプションは無効になります。

5-5-7. キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが利きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

[参考]

● 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

5-5-8. アイリス

この機能を選択すると、画像に基づいて信号を自動的に最適化して補正し、最良のコントラスト画像を得られます。

オフ	最適化はされません。
オン	コントラストが最適化されます。

5-5-9. ボーレート

PC コントロール端子のデータ転送速度を設定します。接続する機器と転送速度を合わせてください。

5-5-10. サウンド

本機から出力する音声を調整します。

音量	◀ ボタンを押すと音量が下がり、▶ ボタンを押すと音量が上がります。範囲は 0 ～ +25 です。
消音	「オフ」を選択すると音声が出力され、「オン」を選択すると音声が出力されません。

5-5-11. HDMI セットアップ

HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続されている機器の出力状態に合わせて設定を変更します。

画像

自動	HDMI 信号レベルのフルレンジとリミテッドレンジを自動的に判別します。正しく自動判別できていない場合は手動で「0-1023」または「64-940」に切り替えてください。
0-1023	HDMI 信号レベルがフルレンジに設定されている機器と接続する場合に選択します。
64-940	HDMI 信号レベルがリミテッドレンジに設定されている機器と接続する場合に選択します。

サウンド

HDMI	入力端子として HDMI 1 または HDMI 2 を選択しているときに、HDMI 入力信号の音声を出力します。
コンピューター	入力端子として HDMI 1 または HDMI 2 を選択しているときに、本機の音声入力端子（ステレオ・ミニ）の音声を出力します。

5-6. 拡張設定

5-6-1. 言語

メニューに表示される言語を選択します。
言語は、オンスクリーンメニューの「初期設定」を行うと、英語に戻ります。

5-6-2. オートセットアップ

入力信号の自動検索、コンピューター映像信号の自動調整、および自動台形補正について、オンとオフを設定します。

入力検索

オフ	入力切替ボタンを押して、手動で入力信号を選択します。
オン	自動的に入力信号を検出し、映像を投写できます。

自動 PC 調整

オフ	リモコンの自動調整ボタンを押してもコンピューター入力信号の自動調整をしません。コンピューター入力信号がうまく投写されないときは、手動で「トラッキング」、「水平位置」、「垂直位置」、および「水平サイズ」を調整してください。
オン	コンピューター信号（アナログ）を入力したとき、リモコンの自動調整ボタンを押すと、自動的に「トラッキング」、「水平位置」、「垂直位置」、および「水平サイズ」を調整します。

オートキーストーン

オフ	手動で「台形補正」をします。
オン	本機の傾きを感知して、投写された映像の垂直方向の台形歪みを自動的に調整します。

[注意]

- 「オートキーストーン」を「オン」に設定しても自動台形補正がされない場合があります。
- オンスクリーンメニューの「オリエンテーション」で「天井 / 正面投写」または「天井 / リア投写」を設定しているとき、オートキーストーンは働きません。
- オンスクリーンメニューの「オリエンテーション」で「自動天井 / 正面投写」または「自動天井 / リア投写」を設定し、本機を天井に取り付けたとき、オートキーストーンは働きません。
- 「入力検索」を「オン」に設定しているとき、USB-A 信号と LAN 信号は検索できません。

- 「入力検索」を「オン」に設定しているとき、BNC からミニ D-Sub15 ピンへ変換した入力信号は検索できません。

5-6-3. 台形補正

傾いたり湾曲したスクリーンに投写すると、投写画面は歪み、スクリーンからはみ出します。
その場合、本機の「台形補正」機能を使って、投写画面がスクリーン内に収まるよう、調整します。
オンスクリーンメニューで「台形補正」を選択すると、台形補正メニューが表示されます。
本機は、以下のような 5 種類の台形補正機能を持っています。

- 水平 / 垂直台形補正
- 4- コーナー補正
- 6- コーナー補正※
- 湾曲スクリーン補正※
- グリッドイメージ調整※

※ 3 つの補正機能は、NP-ME403UJL のみ搭載しています。

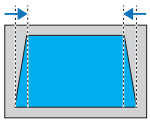
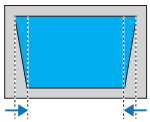
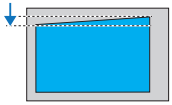
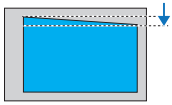
- 5 種類の補正機能を組み合わせて調整することはできません。
- 別の補正機能を選択すると、それまでの補正状態はリセットされます。
- 台形補正した状態は、本機の電源を切ったあとも保持します。台形補正した状態をもとに戻すには「リセット」を実行してください。
- 本機に内蔵しているテストパターンの「クロスハッチ」を表示すると、調整の手助けとなります。(→ 81 ページ)

台形補正

メモリー	本機の電源を切ったあとも、台形補正をした値を保持します。
リセット	本機の電源を切ると、台形補正をした値をもとに戻します。

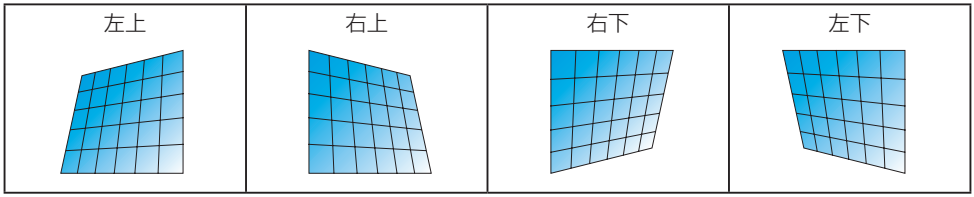
水平 / 垂直台形補正

▲▼◀▶ボタンを使って水平方向および垂直方向の台形歪みを調整します。
操作については、46 ページをご覧ください。

▲ ボタンを押すと、上辺の幅が減ります。	▼ ボタンを押すと、下辺の幅が減ります。	◀ ボタンを押すと、左辺の幅が減ります。	▶ ボタンを押すと、右辺の幅が減ります。
			

4- コーナー補正

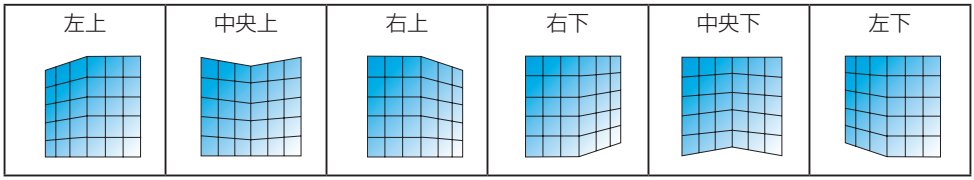
投写画面の 4 つ角について、各々▲▼◀▶ボタンを使って台形歪みを調整します。



6- コーナー補正

適応機種 NP-ME403UJL

投写画面の 4 つの角に、上下の辺の中央 2 箇所を加えた合計 6 箇所について、各々▲▼◀▶ボタンを使って台形歪みを調整します。



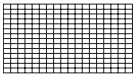
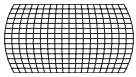
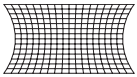
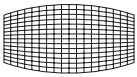
湾曲スクリーン補正

適応機種 NP-ME403UJL

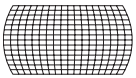
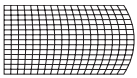
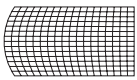
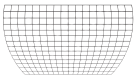
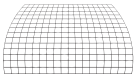
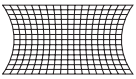
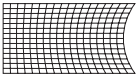
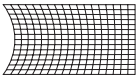
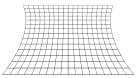
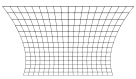
曲面に投写したときの湾曲した歪みを調整します。
湾曲スクリーン補正は、3 つのモードに別れています。決定ボタンを押すと切り替わります。

① 縦横歪み補正 → **② 左右歪み補正** → **③ 上下歪み補正**

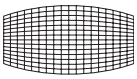
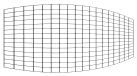
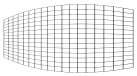
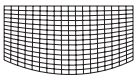
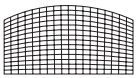
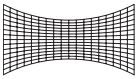
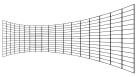
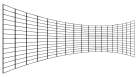
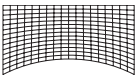
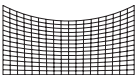
① 縦横歪み補正

補正前	操作	補正後	説明
	◀ボタン		左辺と右辺を左右に広げる。
	▶ボタン		左辺と右辺を内向きに縮める。
	▲ボタン		上辺と下辺を内向きに縮める。
	▼ボタン		上辺と下辺を上下に広げる。

② 左右歪み補正

補正前	操作	補正後	説明
	◀ボタン		左側の歪みを補正する。 右側の歪みを維持しつつ、左辺の上下を外向きに広げる。
	▶ボタン		右側の歪みを補正する。 左側の歪みを維持しつつ、右辺の上下を外向きに広げる。
	▲ボタン		左右の歪みを補正する。 上部の左右を外向きに広げ、下部の左右を内向きに縮める。
	▼ボタン		左右の歪みを補正する。 下部の左右を外向きに広げ、上部の左右を内向きに縮める。
	◀ボタン		左側の歪みを補正する。 右側の歪みを維持しつつ、左辺の中央を外向きに広げる。
	▶ボタン		右側の歪みを補正する。 左側の歪みを維持しつつ、右辺の中央を外向きに広げる。
	▲ボタン		左右の歪みを補正する。 下部の歪みを維持しつつ、上部の左右を内向きに縮める。
	▼ボタン		左右の歪みを補正する。 上部の歪みを維持しつつ、下部の左右を内向きに縮める。

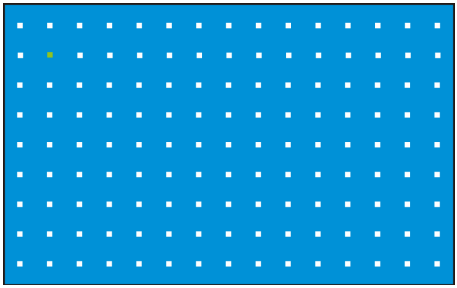
③ 上下歪み補正

補正前	操作	補正後	説明
	◀ボタン		上下の歪みを補正する。 左辺の上下を外向きに広げ、右辺の上下を内向きに縮める。
	▶ボタン		上下の歪みを補正する。 右辺の上下を外向きに広げ、左辺の上下を内向きに縮める。
	▲ボタン		上側の歪みを補正する。 下側の歪みを維持しつつ、上辺の左右を上向きに広げる。
	▼ボタン		下側の歪みを補正する。 上側の歪みを維持しつつ、下辺の左右を下向きに広げる。
	◀ボタン		上下の歪みを補正する。 右側の歪みを維持しつつ、左辺の上下を内向きに縮める。
	▶ボタン		上下の歪みを補正する。 左側の歪みを維持しつつ、右辺の上下を内向きに縮める。
	▲ボタン		上側の歪みを補正する。 下側の歪みを維持しつつ、上辺の中央を上向きに広げる。
	▼ボタン		下側の歪みを補正する。 上側の歪みを維持しつつ、下辺の中央を下向きに広げる。

グリッドイメージ調整

適応機種 NP-ME403UJL

投写画面全体に表示された複数の調整ポイントの中からひとつを選んで、▲▼◀▶ボタンを使って歪みを調整します。



リセット

調整した状態をもとに戻します。

[注意]

- 最大台形補正範囲は、垂直および水平で± 30° です。ただし、画質が劣化し、フォーカスが合わせづらくなります。プロジェクターでは最小限の補正値を使用してください。
- 台形補正は画像のアスペクトに影響を与える可能性があります。

5-6-4. セキュリティー

本機に「暗証番号」(3 桁の数字) を設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティーを有効に設定すると、本機の電源を入れたときに暗証番号入力画面が表示され、正しい暗証番号を入力しなければ投写できなくなります。

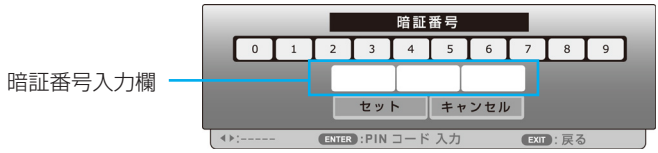
[重要]

- 暗証番号は、オンスクリーンメニューの「初期設定」を実行しても解除されません。設定した暗証番号を忘れないように記録して保管してください。

暗証番号ロック

「暗証番号ロック」を選択すると、暗証番号 (3 桁の数字) 入力画面が表示されますので、暗証番号を入力してください。工場出荷時の暗証番号は「111」が設定されています。

オフ	暗証番号ロック機能は利用できません。
オン	本機の電源を入れると、「暗証番号」入力画面が表示されます。



暗証番号の入力方法

1. 暗証番号入力画面で決定ボタンを押す。
「0」の枠と暗証番号入力欄の左側の枠の色が緑色に変わります。

2. ▶ボタンを押す。
「1」の枠の色が緑色に変わります。

3. 決定ボタンを押す。
暗証番号入力欄の左側の枠に「1」が入力され、右隣りの枠の色が緑色に変わります。
入力された「1」は、しばらくすると「＊」に変わります。

4. 決定ボタンを押す。
暗証番号入力欄の中央の枠に「1」が入力され、右隣りの枠の色が緑色に変わります。

5. 決定ボタンを押す。
暗証番号入力欄の右側の枠に「1」が入力され、「セット」がオレンジ色に変わります。

6.「セット」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。
暗証番号入力画面が消えます。

暗証番号変更

工場出荷時の暗証番号「111」を任意の数字に変更することができます。
「暗証番号変更」を選択すると、暗証番号入力画面が表示されますので、現在の暗証番号を入力してください。
次に、新暗証番号入力画面が表示されます。新しい暗証番号を入力します。

[参考]

- 暗証番号を忘れてしまった場合の解除方法について
  ① 本機の電源コードを抜く。
  ② 本体操作部の電源ボタンと決定ボタンを同時に押しながら、電源コードを本機に接続する。
  本機に電源が供給されます。
  しばらくボタンを押し続けると、暗証番号入力画面が表示されます。
  ③「111」と入力する。
  暗証番号入力画面が消えて、通常の画面が投写されます。
  ④ メニューボタンを押す。
  オンスクリーンメニューが表示されます。
  ⑤「拡張設定」→「セキュリティー」→「暗証番号ロック」を選択する。
  暗証番号入力画面が表示されます。
  ⑥「111」と入力する。
  ⑦ ▼ / ▲ ボタンを押して「オフ」を選択し、決定ボタンを押す。
  暗証番号ロックが解除されます。

5-6-5. パワーマネージメント

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機のランプを消したり電源を切ります。
各モード（待機、シャットダウン、オフ）と、時間を設定します。

待機	下記の「タイマー」で設定した時間に達すると、待機モード（ランプが消灯の状態）に移行します。 待機モードになると、電源インジケーターが緑色に点灯します。 待機モード中に入力信号を検出するか、本体操作部またはリモコンのボタン（電源ボタン以外）が押されると、ランプは再び点灯します。
シャットダウン	下記の「タイマー」で設定した時間に達すると、本機の電源が切れスタンバイ状態になります。
オフ	パワーマネージメント機能を無効にします。

タイマー

ランプが消灯するまでの時間、または本機がシャットダウンするまでの時間を設定します。1 ～ 30 分の範囲で設定できます。工場出荷時は「5 分」が設定されています。
本機が無信号状態になり、そのままボタン操作が 30 秒間なければ、画面の右下に「入力信号なし」と待機モード（ランプが消灯の状態）に移行するまでの残り時間、または本機がシャットダウンするまでの時間が表示されます。

待機秒読み

待機モードになったあと本機の電源を切りスタンバイ状態になるまでの時間（0 ～ 30 分）を設定します。工場出荷時は「5 分」が設定されています。「0 分」に設定すると待機モードを維持します。

5-6-6. フィルター

本機の吸気口にはフィルターが取り付けられています。本機を長時間使用すると、設置している環境によってはフィルターにほこりが付着します。フィルターにほこりが付着すると通気性が悪化し冷却効果が低下します。そのまま使い続けると、故障の原因となります。そのため、フィルターを清掃する時間を設定し、定期的にフィルターを清掃してください。

フィルターカウンター（注：カーソルは移動しません。）	フィルターの使用時間を表示します。 フィルターの清掃が終了したら、フィルターカウンターリセットを実行して、フィルターカウンターを「0 時間」に戻してください。

タイマー	フィルター警告アイコンを表示するまでの時間を設定します。 フィルターカウンターの時間が、タイマーで設定した時間に達すると、画面にフィルター警告アイコンが表示されます。 画面にフィルター警告アイコンが表示されたら、すぐにフィルターを取り外して清掃してください。（→ 101 ページ）
フィルターカウンターリセット	フィルターの清掃が終了したら、フィルターカウンターリセットを実行して、フィルターカウンターを「0 時間」に戻します。
フィルターチェック	フィルターの目詰まりをチェックするかしなかを設定します。 オフ…フィルターの目詰まりをチェックしません。 オン…フィルターの目詰まりをチェックします。 フィルターの異常を感知すると、フィルター警告アイコンを表示します。

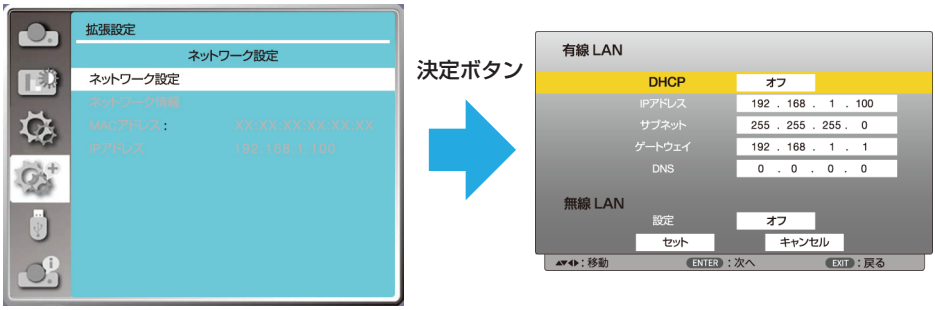
5-6-7. テストパターン

本機に内蔵している 12 種類のテストパターンを表示します。
投写画面のフォーカス調整や台形補正をする際に、テストパターンを表示してください。
テストパターン画面をもとの画面に戻すには、メニューボタンを押して、もう一度「テストパターン」を選択し、「オフ」にカーソルを合わせ決定ボタンを押します。

5-6-8. ネットワーク設定

ネットワークを介してコンピューターから本機を制御する際、本機をネットワークに接続するためネットワーク設定をします。

- ネットワーク設定をする前に、本機とルーターなどを LAN ケーブルで接続してください。（→ 91 ページ）
- 無線 LAN を介して当社の MultiPresenter アプリと接続する場合は、別売の無線 LAN ユニット（型名：NP05LM3）をお買い求めください。（→ 92 ページ）
- IP アドレス、サブネット、ゲートウェイ、DNS を変更する手順は、57 ページをご覧ください。
- ネットワーク設定を変更したら、▲ / ▼ボタンを押して「セット」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。



有線 LAN

DHCP	カーソルを合わせ決定ボタンを押します。▲ / ▼ボタンを押して「オン」または「オフ」に切り替えて決定ボタンを押します。 オフ… ネットワーク管理者から割り当てられた任意の IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。 オン… DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
IP アドレス	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
サブネット	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

無線 LAN

設定	カーソルを合わせ決定ボタンを押します。▲ / ▼ボタンを押して「オン」または「オフ」に切り替えて決定ボタンを押します。 オフ… 無線 LAN を無効にします。 オン… 無線 LAN を有効にします。

5-6-9. コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID	オフ… コントロール ID 機能が無効になります。 オン… コントロール ID 機能が有効になります。
コントロール ID 番号	本機に割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。 工場出荷時は「1」が設定されています。

[注意]

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは使用できます）。

リモコンへの ID の設定／変更方法

1. プロジェクターの電源を入れる。

2. リモコンの ID SET ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。

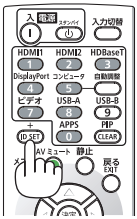
このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「アクティブ」、操作できない場合は「非アクティブ」画面が表示されます。
「非アクティブ」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 3 でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

3. リモコンの ID SET ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。
たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、「000」を入力するか、または CLEAR ボタンを押します。

[参考]

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

4. ID SET ボタンを離す。
コントロール ID 画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコン ID でアクティブ・非アクティブ画面が更新されます。



コントロール ID が「オフ」のとき

コントロール ID が「オン」でコントロール ID 番号が「1」、そしてリモコン ID が一致しているとき

コントロール ID が「オン」でコントロール ID 番号が「1」、そしてリモコン ID が不一致のとき

[注意]

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

5-6-10. 初期設定

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

5-6-11. ランプカウンターリセット

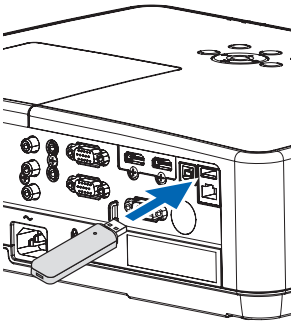
インフォメーションに表示されるランプカウンターを 0H（0 時間）に戻します。
ランプを交換したあとは、必ずランプカウンターリセットを実行してください。リセット実行後、ランプインジケーターが消灯し、画面のランプ交換アイコンが消えます。

5-7. USB-A

次の手順でビューワー画面を表示してください。

1. 本機の電源を入れる。

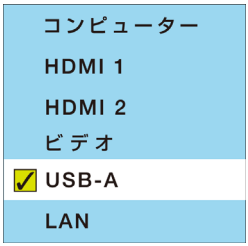
2. 投写する画像を保存した USB メモリーを本機の USB ポートに差す。



［注意］
- USB メモリーのコネクターの向きに注意して差してください。無理に押し込むと、故障の原因となります。

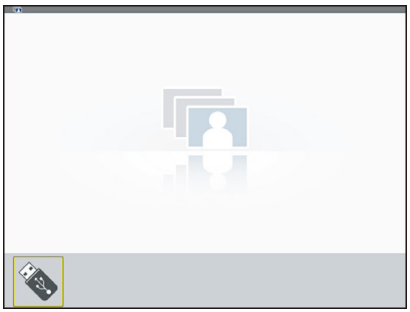
3. 本体操作部またはリモコンの入力切替ボタンを押し、「USB-A」を選択する。

ビューワー画面に切り替わります。
- ビューワーを終了する場合は、入力切替ボタンを押して「USB-A」以外の端子を選択してください。



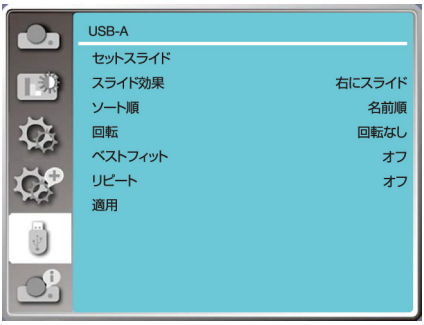
4. ビューワー画面で決定ボタンを押す。

USB メモリー内のフォルダーアイコンおよび画像アイコンが表示されます。



5. ビューワー画面でメニューボタンを押す。

USB-A メニューが表示されます。



セットスライド	「スライド効果」、「ソート順」、「回転」、「ベストフィット」、「リピート」の設定に従って、画像をスライドとして表示します。 設定を変更した場合は、必ず「適用」を実行してください。
スライド効果	スライドを切り替える方向を設定します。 右にスライド … スライドを左から右に切り替えます。 下にスライド … スライドを上から下に切り替えます。
ソート順	スライドを切り替える順番を設定します。 名前順……ファイルまたはフォルダーを名前で並べ替えます。 時間順……ファイルまたはフォルダーを時間で並べ替えます。 サイズ順…ファイルまたはフォルダーをサイズで並べ替えます。 拡張子順…ファイルまたはフォルダーを拡張子名で並べ替えます。
回転	画像の回転方向を設定します。 回転なし …… 回転は無効になります。 90˚ …… 時計回りに 90˚ 回転します。 180˚ …… 時計回りに 180˚ 回転します。 270˚ …… 時計回りに 270˚ 回転します。
ベストフィット	画像の表示サイズについて設定します。 オフ… 通常の画素で画像を表示します。 オン… スクリーンのアスペクト比に応じて画像を表示します。
リピート	スライドの最後の画像が表示されたあとの動作を設定します。 オフ… 最後の画像を表示したあと、画像一覧画面に戻ります。 オン… 最後の画像を表示したあと、最初の画像から再び表示されます。
適用	「スライド効果」、「ソート順」、「回転」、「ベストフィット」、「リピート」の設定を適用します。 設定を変更した場合は、必ず「適用」を実行してください。

5-8. インフォメーション

投写している信号の情報や、本機の情報を表示します。

入力	入力切替で選択している端子名を表示します。また、コンピューター、HDMI1、HDMI2 のときは信号の解像度を表示します。
水平周波数	入力信号の水平周波数を kHz で表示します。信号がないときは「---kHz」と表示します。
垂直周波数	入力信号の垂直周波数を Hz で表示します。信号がないときは「---Hz」と表示します。
ランプカウンター	実際のランプ点灯時間とは異なり、ECO2 に換算したランプ点灯時間を表示します。下記の計算式を参考にしてください。またランプの残り時間の目安をパーセントで表示します。 ランプカウンター = ブースト使用時間 × 2.5 + ノーマル使用時間 × 2.0 + ECO1 使用時間 × 1.67 + ECO2 使用時間
モデル名	モデル名を表示します。
S / N	本機のシリアル番号を表示します。
バージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
SUBCPU	本機の SUBCPU のバージョンを表示します。

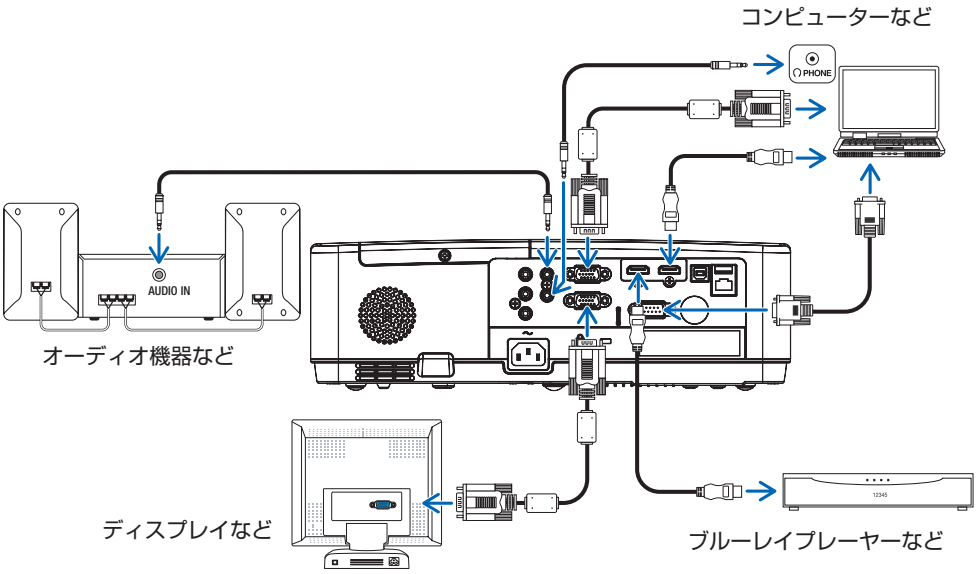
6. 機器と接続する

6-1. コンピューターや映像機器と接続する

外部機器との接続例です。

[注意]

- コンピューターのミニ D-Sub15 ピンと接続する場合は、添付のコンピューターケーブルを使用してください。
  市販の HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
  下記以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



信号ケーブルに関する注意事項

HDMI ケーブル（市販）

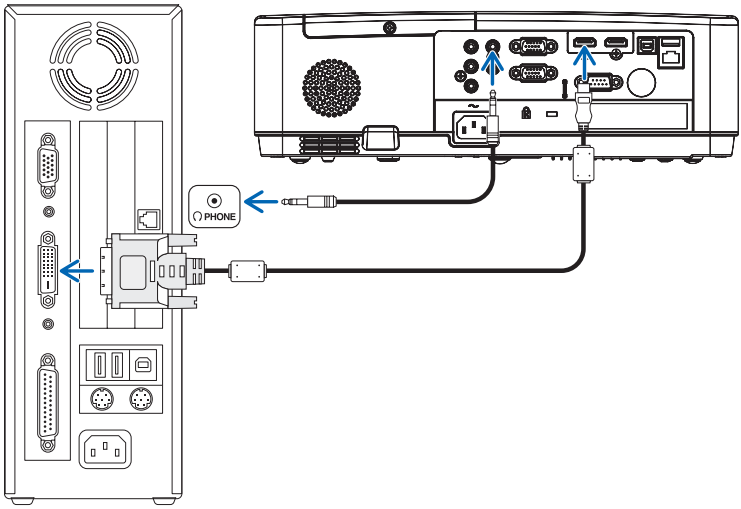
- 認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGHSPEED ケーブルを使用してください。
- 本機は、HDMI 信号レベルのフルレンジとリミテッドレンジを自動的に判別します。HDMI 入力信号が正しく投写されない場合は、HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続している機器の信号レベルを確認して、オンスクリーンメニューの「HDMI セットアップ」の「画像」設定を切り替えてください。（→ 71 ページ）

コンピューターケーブル（市販）

- 市販のコンピューターケーブルを使用する場合は、フェライトコア付きのケーブルを使用してください。

DVI–HDMI 変換ケーブル（市販）

- コンピューター側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子に接続します デジタル映像信号のみ入力できます。
- フェライトコア付きのケーブルを使用してください。



[注意]

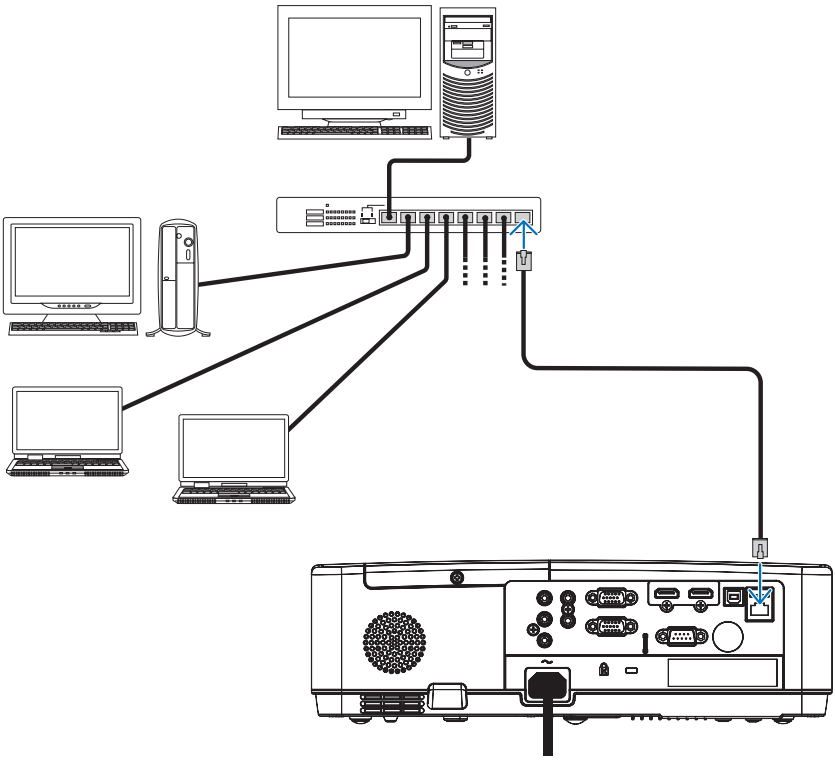
- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- オンスクリーンメニューの「HDMI セットアップ」の「サウンド」を「コンピューター」に設定してください。
- スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き差ししたときに HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 入力端子 (または HDMI 2 入力端子) を再度選択してください。

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
  - DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
  - DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で接続してください。
  - DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。
    上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。
  - コンピューターのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（またはDFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
  - 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。

6-2. 有線 LAN と接続する

本機を有線 LAN に接続すると、HTTP サーバー機能を利用して、コンピューターでウェブブラウザーを使用して本機を制御することができます。
詳しくは「7. ネットワークに接続する」(→ 94 ページ) をご覧ください。
LAN ケーブルは、市販のカテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。

接続例



6-3. 無線 LAN と接続する

別売の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、ネットワーク設定画面で「無線 LAN」を「オン」に設定してください。
詳しくは「7. ネットワークに接続する」（→ 94 ページ）をご覧ください。

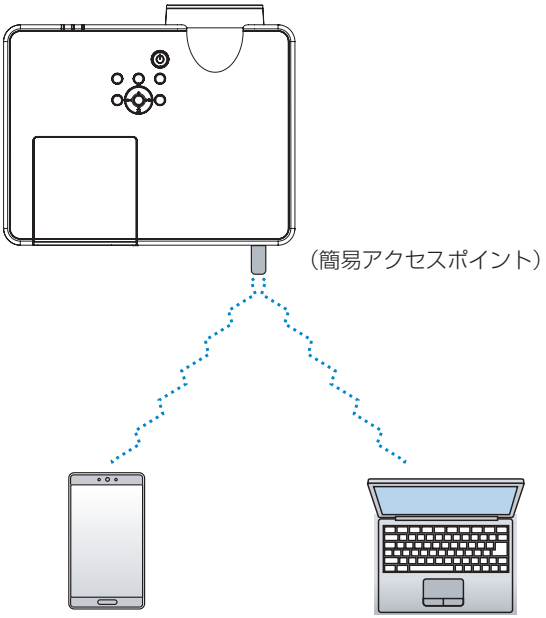
[重要]

- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。

[注意]

- 無線 LAN を使用する場合は、別売の無線 LAN ユニット（型名：NP05LM3）をお買い求めください。
- 無線 LAN のときは、本機を簡易アクセスポイントとして接続します。インフラストラクチャー接続はできません。
- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。
- コンピューター側の無線 LAN アダプター（またはユニット）は、IEEE802.11a/b/g/n 規格のものを使用してください。

無線 LAN への接続例



無線 LAN ユニットの取り付けかた

[注意]

- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、本機の USB ポート（タイプ A）に取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニットおよび USB ポートが壊れます。向きに注意してください。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。
  本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しをすると、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。

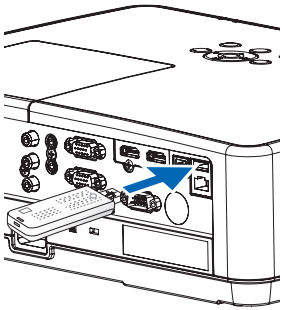
1. 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

2. 無線 LAN ユニットを USB ポートに差し込む。

- 無線 LAN ユニットのキャップを外し、表面（インジケーターのある面）を下向きにして差し込んでください。
  外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。

[注意]

- 差しづらい場合は、無理に押し込まないでください。
- 無線 LAN ユニットのボタンは、本機では動作しません。



3. 本機に電源コードを接続し、電源ボタンを押して電源を入れる。

7. ネットワークに接続する

7-1. ネットワークに接続してできること

- 当社の MultiPresenter アプリをインストールした端末から本機へ、有線 LAN または無線 LAN を経由して画面イメージを送信しスクリーンへ投写できます。
  MultiPresenter については、当社のホームページをご覧ください。

  https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html
- MultiPresenter アプリを使用すると、複数のコンピューターやタブレット端末を同時に接続できます。最大 16 台まで接続可能です。
- 有線 LAN または無線 LAN で接続中のコンピューターやタブレット端末のウェブブラウザーを使って、本機の HTTP サーバーに接続し、本機を制御したりネットワーク設定をすることができます。
- 本機の HTTP サーバーでは、HTTP サーバーのログインパスワード変更、画像調整、画面調整、ネットワーク設定、Crestron control 設定、PJLink 設定などができます。
- 無線 LAN のときは、本機を簡易アクセスポイントとして接続します。インフラストラクチャー接続はできません。

7-2. MultiPresenter アプリで接続する

準備

- 本機を有線 LAN に接続する場合は、LAN ケーブルを本機に接続してください。(→ 91 ページ)
- 本機を無線 LAN に接続する場合は、無線 LAN ユニットを本機に取り付けてください。(→ 92 ページ)
- 本機のネットワーク設定をしてください。(→ 81 ページ)
- コンピューターやタブレット端末に MultiPresenter アプリをインストールしてください。

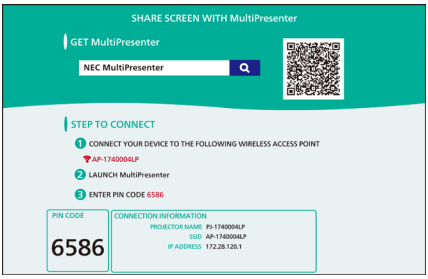
無線 LAN で接続する場合

1. 本機の電源を入れ、リモコンの APPS ボタンを押す。

- または、入力切替ボタンを押し、入力端子メニューで「LAN」を選択してください。

MultiPresenter のスタート画面が英語で表示されます。

画面例



2. スタート画面に表示されている「SSID」と一致するアクセスポイントにコンピューターやタブレット端末を接続する。

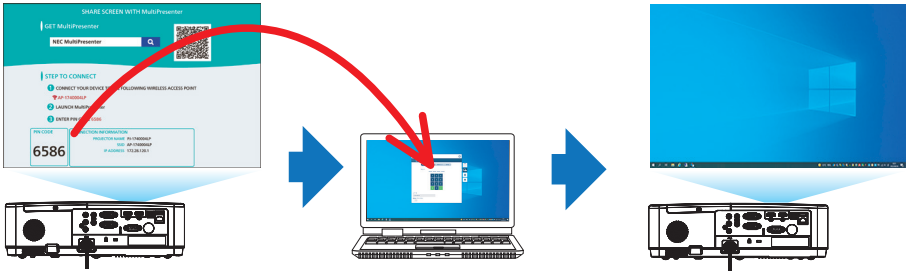
- 画面に表示されている SSID は、**「AP-」＋「本機のシリアル番号」**となっています。（本機の出荷時の設定）
- SSID は、本機の HTTP サーバー画面で変更することができます。（→ 99 ページ）

3. MultiPresenter アプリを起動する。

ターゲットデバイス画面が表示されます。

4. スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードをターゲットデバイス画面に入力する。

本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。



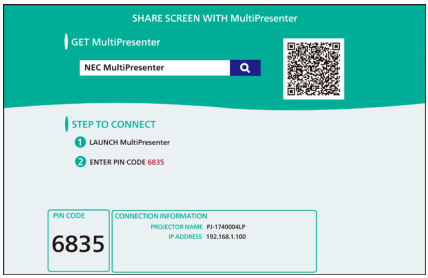
有線 LAN で接続する場合

1. 本機の電源を入れ、リモコンの APPS ボタンを押す。

- または、入力切替ボタンを押し、入力端子メニューで「LAN」を選択してください。

MultiPresenter のスタート画面が英語で表示されます。

画面例

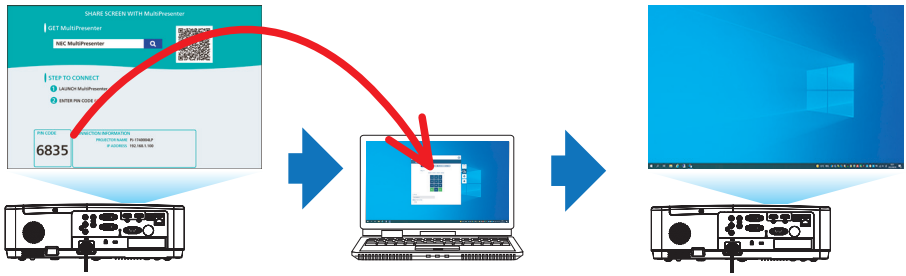


2. MultiPresenter アプリを起動する。

ターゲットデバイス画面が表示されます。

3. スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードをターゲットデバイス画面に入力する。

本機との接続が完了すると、コンピューターの画面がスクリーンに投写されます。



7-3. 本機の HTTP サーバーに接続する

準備

- 本機を有線 LAN に接続する場合は、LAN ケーブルを本機に接続してください。(→ 91 ページ)
- 本機を無線 LAN に接続する場合は、無線 LAN ユニットを本機に取り付けてください。(→ 92 ページ)
- 本機のネットワーク設定をしてください。(→ 81 ページ)

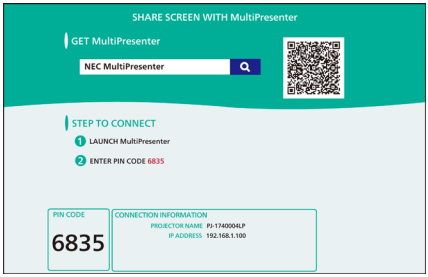
1. 本機の電源を入れ、リモコンの APPS ボタンを押す。

- または、入力切替ボタンを押し、入力端子メニューで「LAN」を選択してください。

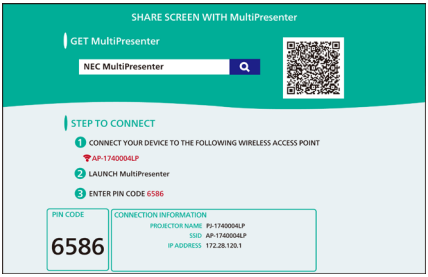
MultiPresenter のスタート画面が英語で表示されます。

画面例

有線 LAN のとき



無線 LAN のとき



2. 無線 LAN のときは、コンピューターやタブレット端末で MultiPresenter のスタート画面に表示されている SSID を選択する。

- 画面に表示されている SSID は、**「AP-」＋「本機のシリアル番号」**となっています。(本機の出荷時の設定)
- SSID は、本機の HTTP サーバー画面で変更することができます。(→ 99 ページ)

3. コンピューターやタブレット端末のウェブブラウザーを起動する。

4. MultiPresenter のスタート画面に表示されている本機の IP アドレスを次の

ようにウェブブラウザーの URL 欄に入力する。

画面に表示されている IP アドレスが「**192.168.1.100**」の場合
URL 入力欄へ「**http://192.168.1.100/index.html**」と指定します。

しばらくすると、ウェブブラウザーに HTTP サーバー画面が表示されます。
- HTTP サーバー画面の右上のプルダウンメニューで表示言語（日本語）を選択してください。

5. 画面左上の「Login」ボタンをクリックする。

はじめて「Login」ボタンをクリックしたときや、オンスクリーンメニューで「初期設定」を実行したときは、ログインパスワードを設定する画面が表示されます。
- パスワードを設定したあと、次に「Login」ボタンをクリックしたときは、ログインパスワード入力画面が表示されます。

6. 任意のログインパスワードともう一度同じパスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックする。

ログインパスワード入力画面が表示されます。
- パスワードは、HTTP サーバー画面の「一般設定」で変更することができます。

7. 手順 6 で設定したパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックする。

HTTP サーバー画面が表示されます。

HTTP サーバー画面の設定項目は次のとおりです。

システム状態	バージョン	プロジェクターのファームウェアのバージョンが表示されます。	
	ネットワーク状態	LAN の接続ステータスが表示されます。	
一般設定	パスワード変更	ログインパスワードを変更できます。	
	電源とソース	電源のオン／オフ、および信号切替をします。	
画像調整	明るさ	投写している画像の明るさを調整します。	
	コントラスト	投写している画像のコントラストを調整します。	
	画質	投写している画像の画質を調整します。	
	Color Temperature（赤／緑／青）	投写している画像の色温度を調整します。	
画面調整	アスペクト	投写している画像のアスペクト比を切り替えます。	
	トラッキング	投写している画像のトラッキングを調整します。	
	水平位置	投写している画像の水平位置を調整します。	
	垂直位置	投写している画像の垂直位置を調整します。	
	水平サイズ	投写している画像の水平サイズを調整します。	
	フリーズ	画面の静止のオン／オフを切り替えます。	
	自動 PC 調整	コンピューター信号の自動調整を実行します。	
	垂直キーストーン	垂直方向の台形歪みを補正します。	
	水平キーストーン	水平方向の台形歪みを補正します。	
	コーナー補正	TopLeft_x	左上の角の歪みを補正します。
		TopLeft_y	
		TopRight_x	右上の角の歪みを補正します。
		TopRight_y	
		BottomLeft_x	左下の角の歪みを補正します。
		BottomLeft_y	
		BottomRight_x	右下の角の歪みを補正します。
		BottomRight_y	

ネットワーク設定	LAN の設定	DHCP	DHCP の有効／無効を選択します。 DHCP が無効のときは、以下に IP アドレス、サブネット、ゲートウェイ、DNS を設定します。
		IP アドレス	DHCP が無効のときに IP アドレスを設定します。
		サブネット	DHCP が無効のときにサブネットを設定します。
		ゲートウェイ	DHCP が無効のときにゲートウェイを設定します。
		DNS	DHCP が無効のときに DNS を設定します。
	Crestron control	IP Address	Crestron control のオプションを設定します。
		IP ID	
		PORT	
	ワイヤレス設定	ワイヤレスネットワーク	無線 LAN の有効／無効を選択します。
		SSID	本機を簡易アクセスポイントとして使用するときの SSID を入力します。 本機の出荷時は、「AP- シリアル番号」が設定されています。
		AP/AdHoc インクリプト	パスワード設定のオン／オフを選択します。
		AP/AdHoc キー	パスワードを設定します。
	PJLink の 設定	パスワードオン／オフ	パスワード設定のオン／オフを選択します。
		パスワードを入力	PJLink のパスワードを入力します。
		パスワードを確認	PJLink のパスワードを再入力して確認します。

[注意]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定をしてください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
  また続けてボタン操作をするとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作してください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザーの画面表示を更新してください。

- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザーにしてください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。
- プロキシサーバーについて
  プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

8. 本体のお手入れ／ランプとフィルターの交換

8-1. フィルターの清掃

吸気口のフィルターはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。
フィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。

警告	フィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

[参考]

- フィルター清掃時期の表示について
  - 本機にはフィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。本機の使用時間が、あらかじめ設定した時間に達するか、またはフィルターの目詰まりを感知すると、画面上に「フィルター警告」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルターを清掃してください。

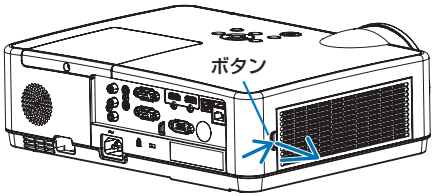
  - 設置する環境に合わせて、フィルター清掃のメッセージ表示間隔を変更する（オフ／500 時間／ 1000 時間／ 2000 時間）ことができます。
  - フィルターの清掃間隔（タイマー）は初期設定で「1000 時間」と設定されています。
  - フィルターの清掃が終了したら、フィルターカウンターリセットを実行してください。
  - 設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルター」（→ 80 ページ）をご覧ください。

8-1-1. フィルターの清掃手順

フィルターの清掃はフィルターユニットおよびフィルターカバーを取り外して清掃します。

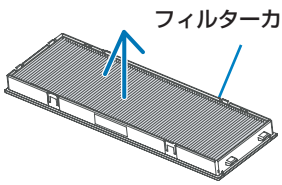
注意	フィルターの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから作業してください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

1. フィルターカバーのくぼみに指を入れて、手前に引いて取り外す。



2. フィルターカバーからフィルターを取り外す。

- フィルターのひだの部分を軽くつまんで引きます。

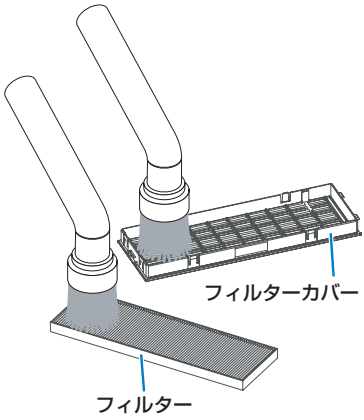


3. フィルターおよびフィルターカバーのほこりを取り去る。

- 表側と裏側を清掃してください。

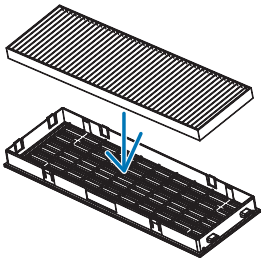
［注意］

- フィルターの清掃はブラシ付きアダプターを使用してください。アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目づまりの原因となります。



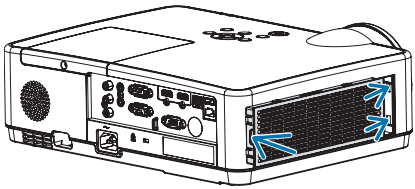
4. フィルターをフィルターカバーに取り付ける。

- フィルターには、表側と裏側の違いはありません。



5. フィルターカバーを本体に取り付ける。

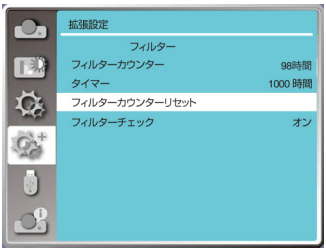
- フィルターカバーの 2 つの突起をプロジェクター本体のレンズ側に差し込み、そのあとフィルターカバーのくぼみがある側を押し込みます。
  カチッと音がするまで確実に押し込んでください。



6. フィルター使用時間をリセットする。

① 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

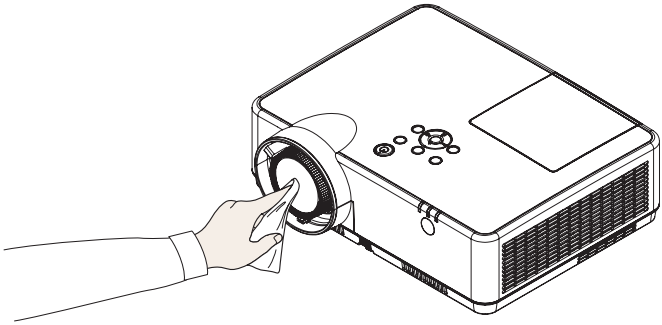
② オンスクリーンメニューで「拡張設定」→「フィルター」→「フィルターカウンターリセット」を選択して、決定ボタンを押します。(→ 80 ページ)



8-2. レンズの清掃

本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、市販のプラスチック用レンズクリーナーを使用して汚れをふき取ってください。
市販のプラスチック用レンズクリーナー は、カメラ販売店等でお買い求めください。

警告	● レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。 ● レンズの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。レンズの清掃中に電源が入ると、レンズからの強い光が目に入り、視力障害の原因となります。



[注意]

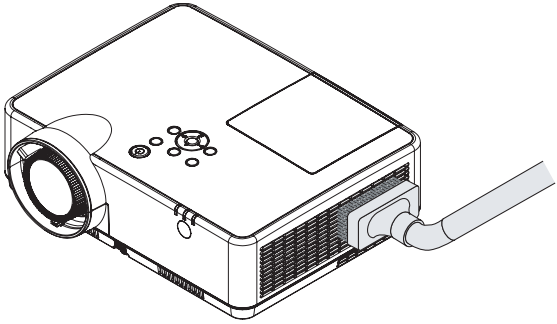
- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

8-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。

警告	キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

[注意]

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

8-4. ランプとフィルターの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）※の約 300 時間前になると、ランプインジケーターがオレンジ色で点滅し、投写画面の右上に「ランプ警告アイコン」が表示されます。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、ランプ交換時間（目安）に達する前に、以下の説明および交換手順にしたがって、新しいランプおよびフィルターと交換してください。

ランプ交換時間（目安）※

エコモードの設定	ノーマル	ECO1	ECO2	ブースト
ランプ交換時間	10,000 時間	12,000 時間	20,000 時間	8,000 時間

※：ランプ交換時間は、保証時間ではありません。ランプ交換時間より先に修理・部品交換が必要になる場合もあります。

- エコモードを「ECO1」または「ECO2」で使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。
- エコモードを「ブースト」で使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）が短くなります。
- ランプ交換の時期は、オンスクリーンメニューの「インフォメーション」の「ランプカウンター」の下に表示しているパーセントが「0%」に達したときを目安にしてください。

⚠注意

- ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから作業してください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプを交換する場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。

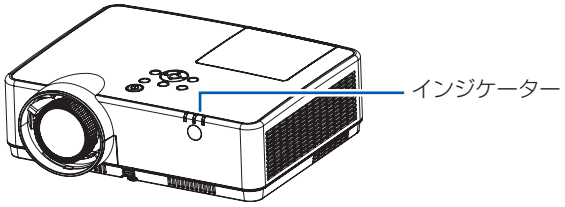
[お願い]

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。
  ご注文の際は交換用ランプ型名「**NP47LP**」をご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルターが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルターも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。（→ 108 ページ）

- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- ランプ交換時間（目安）を超えて使用すると、ランプインジケーターが赤く点滅するとともに投写画面に「ランプ交換メッセージ」が表示されます。

- 「ランプ交換メッセージ」が表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。
  ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。

ランプ交換時のランプインジケーターについて



インジケーター表示			プロジェクターの状態	対処
電源	ステータス	ランプ		
（各状態）	（消灯）	オレンジ色 （短い点滅 *）	ランプ交換猶予時間中	ランプ交換の猶予時間（約 300 時間）中です。すみやかに新しいランプと交換してください。
（各状態）	（消灯）	赤色 （短い点滅 *）	ランプ交換時期超過	ランプ交換時期を超過しています。 ただちに新しいランプと交換してください。

* 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 のくり返し

8-4-1. ランプとフィルター交換の流れ

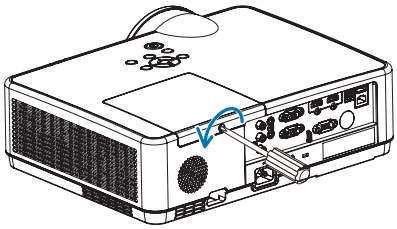
ステップ 1	ランプを交換する（→ このページ）
ステップ 2	フィルターを交換する（→ 110 ページ）
ステップ 3	ランプ使用時間とフィルター使用時間をクリアする（→ 112 ページ）

8-4-2. ランプを交換する

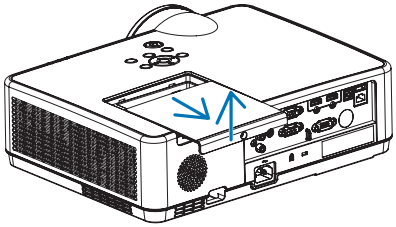
準備：プラスドライバーを用意してください。

1. ランプカバーを外す。

① ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
- ネジは外れません。

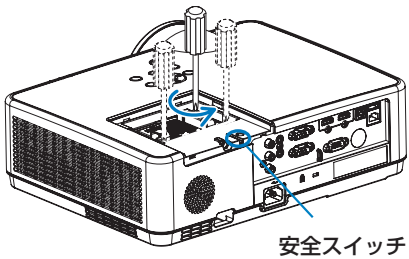


② ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。

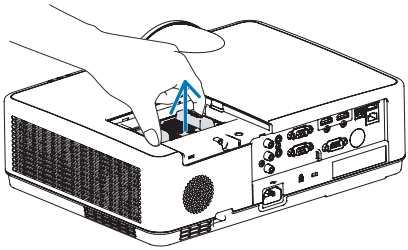


2. ランプを外す。

① ランプ固定のネジ（3 箇所）を左に空転するまでゆるめる。
- ネジは外れません。
- プロジェクターには安全スイッチが付いています。
  安全スイッチには触れないでください。



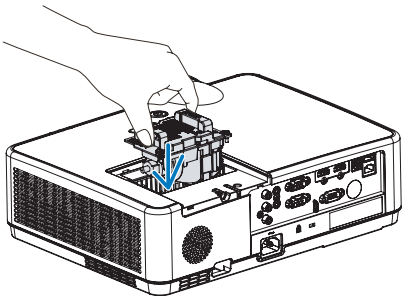
② ランプのツマミを指で挟んで持ち上げる。



⚠注意	高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。

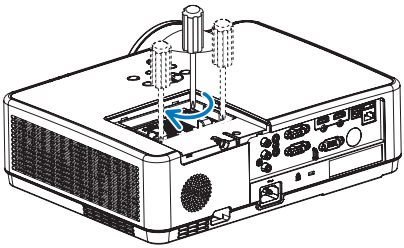
3. 新しいランプを取り付ける。

① ランプを静かに入れる。
- 奥まで押し込んでください。



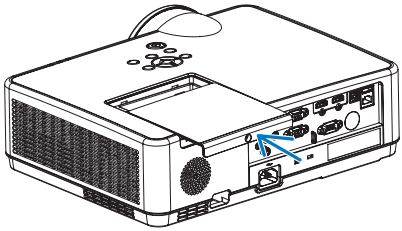
② ランプの中央部分を押して、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。

③ ランプ固定のネジ（3 箇所）を右に回してしめる。
- ネジは確実にしめてください。

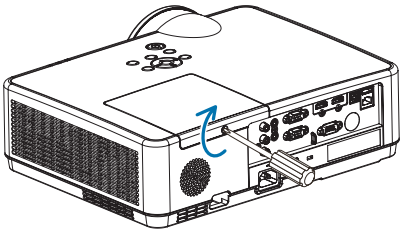


4. ランプカバーを取り付ける。

① ランプカバーをスライドさせて取り付ける。



② ランプカバーネジを右に回してしめる。
- ネジは確実にしめてください。



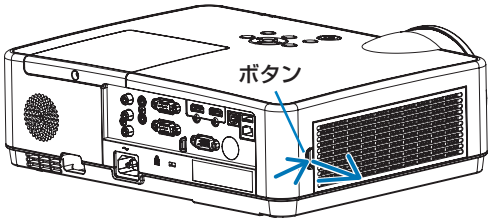
これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルターを交換してください。

8-4-3. フィルターを交換する

[注意]

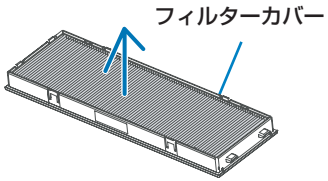
- フィルターを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから作業してください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルターは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。
- 必ずフィルターを正しく取り付けてください。フィルターを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

1. フィルターカバーのくぼみに指を入れて、手前に引いて取り外す。

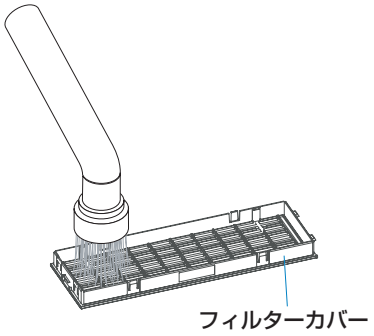


2. フィルターカバーからフィルターを取り外す。

- フィルターのひだの部分を軽くつまんで引きます。

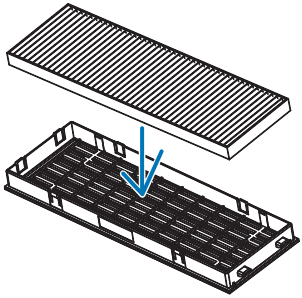


3. フィルターカバーを清掃する。



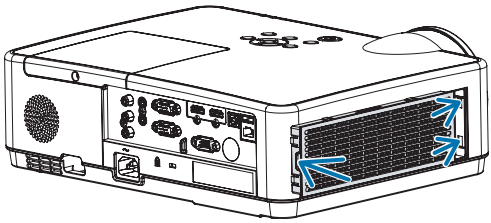
4. 新しいフィルターをフィルターカバーに取り付ける。

- フィルターには、表側と裏側の違いはありません。



5. フィルターカバーを本体に取り付ける。

- フィルターカバーの 2 つの突起をプロジェクター本体のレンズ側に差し込み、そのあとフィルターカバーのくぼみがある側を押し込みます。
  カチッと音がするまで確実に押し込んでください。



これで、フィルター交換が終わりました。
続いてランプ使用時間とフィルター使用時間をリセットしてください。

8-4-4. ランプ使用時間とフィルター使用時間をリセットする

1. プロジェクターを投写する場所に設置する。

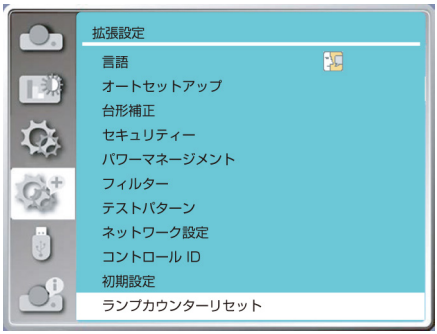
2. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

3. ランプ使用時間を「0」に戻す（リセットする）。

① メニュー ボタンを押して、オンスクリーンメニューを表示する。

②「拡張設定」メニューを表示する。

③「ランプカウンターリセット」を選択し、メッセージを確認して「はい」を選択する。



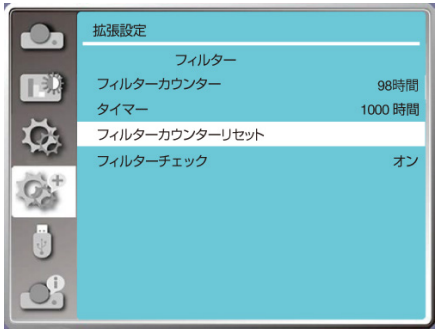
4. フィルター使用時間を「0」に戻す（リセットする）。

① メニュー ボタンを押して、オンスクリーンメニューを表示する。

②「拡張設定」メニューを表示する。

③「フィルター」を選択する。

④「フィルターカウンターリセット」を選択し、メッセージを確認して「はい」を選択する。



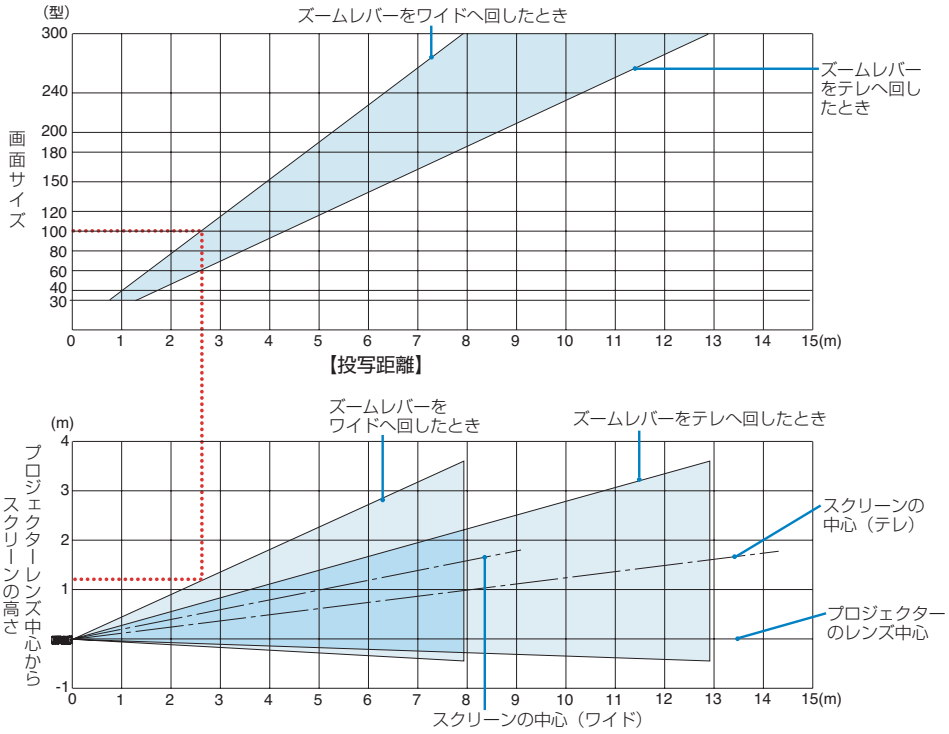
9. 付録

9-1. 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要か、またプロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。
図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。

適応機種 NP-ME403UJL

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.8m（30 型の場合）～ 12.9m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。

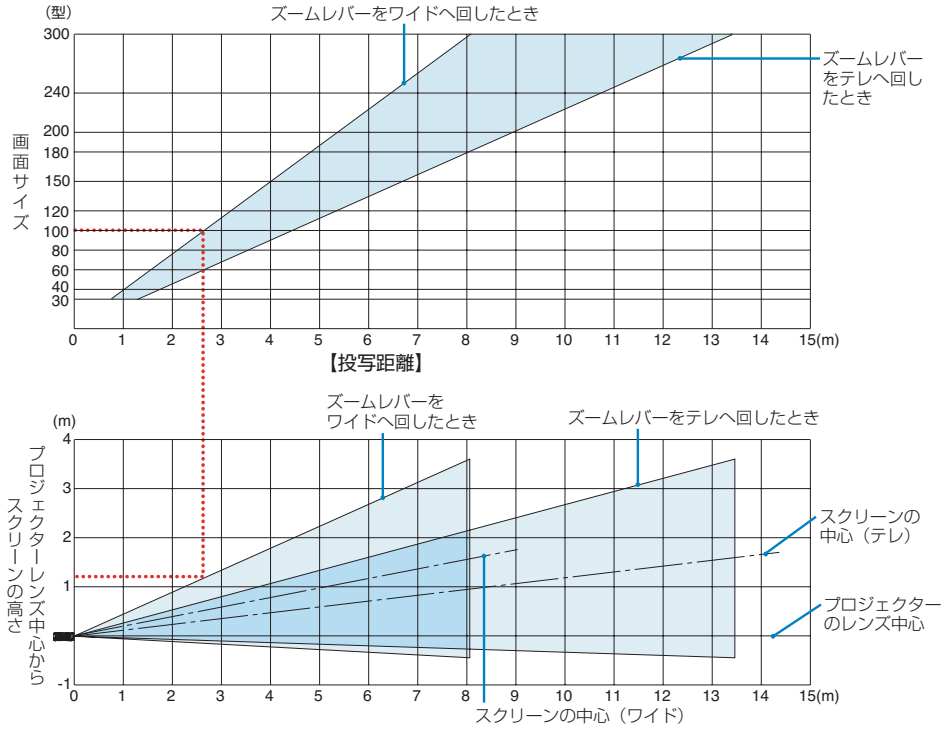


図の見かた

上図より 100 型スクリーンにワイドで投写するときに、2.6m 付近に設置することになります。
その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、100 型スクリーンに投写するとき、レンズ中心からスクリーンの上端まで約 1.2m の高さが必要となります。

適応機種 NP-ME423WJL

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.8m（30 型の場合）～ 13.4m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



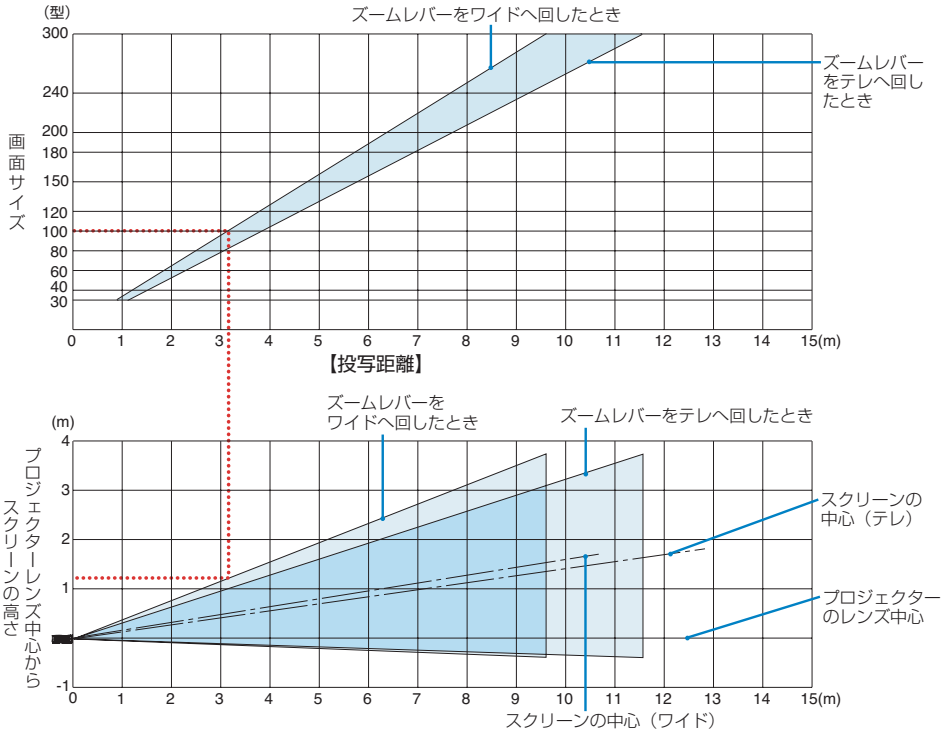
図の見かた

上図より 100 型スクリーンにワイドで投写するときに、2.6m 付近に設置することになります。

その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、100 型スクリーンに投写するとき、レンズ中心からスクリーンの上端まで約 1.2m の高さが必要となります。

適応機種 NP-MC393WJL

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.0m（30 型の場合）～ 11.6m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。

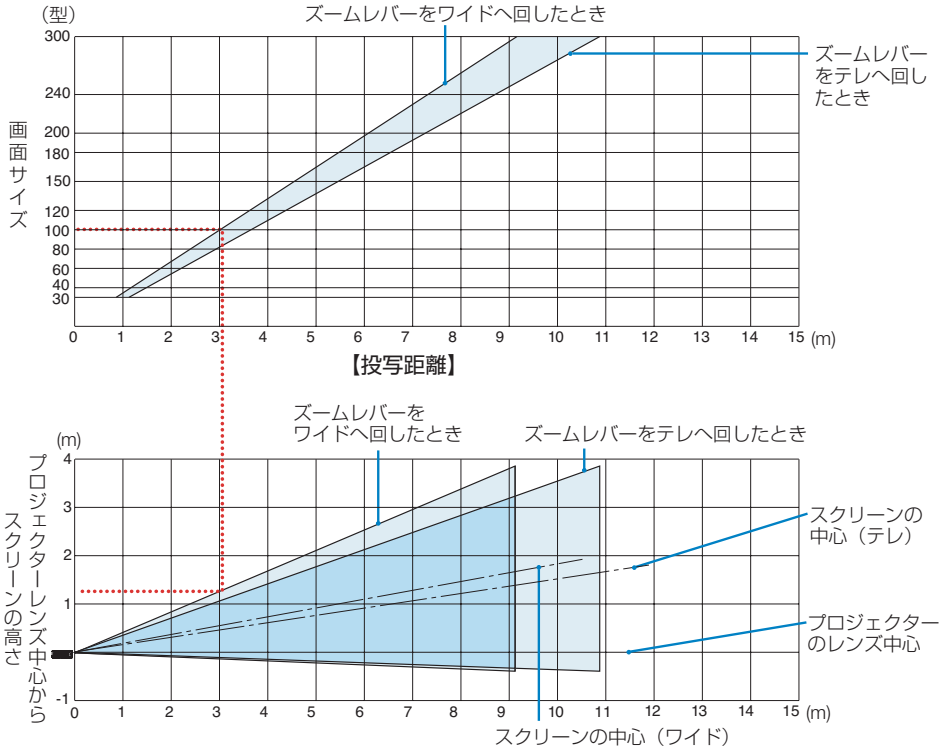


図の見かた

上図より 100 型スクリーンに投写するときに、3.2m 付近に設置することになります。
その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、100 型スクリーンに投写するとき、レンズ中心からスクリーンの上端まで約 1.3m の高さが必要となります。

適応機種 NP-MC453XJL

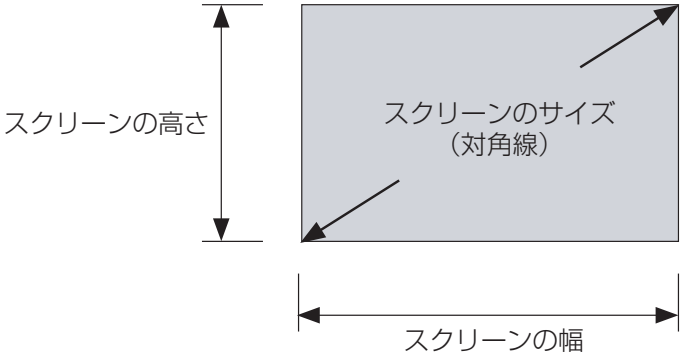
フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.9m（30 型の場合）～ 10.9m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



図の見かた

上図より 100 型スクリーンに投写するときに、3.0m 付近に設置することになります。
その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、100 型スクリーンに投写するとき、レンズ中心からスクリーンの上端まで約 1.3m の高さが必要となります。

スクリーンのサイズおよび寸法表



適応機種	NP-ME403UJL / NP-ME423WJL / NP-MC393WJL

（アスペクト比　16:10 ）

スクリーンサイズ		スクリーンの幅	スクリーンの高さ
（型）	（cm）	（cm）	（cm）
30	76	64.6	40.4
40	102	86.2	53.8
60	152	129.2	80.8
80	203	172.3	107.7
100	254	215.4	134.6
120	305	258.5	161.5
150	381	323.1	201.9
180	457	387.7	242.3
200	508	430.8	269.2
240	610	516.9	323.1
270	686	581.6	363.5
300	762	646.2	403.9

適応機種 NP-MC453XJL

（アスペクト比　4:3 ）

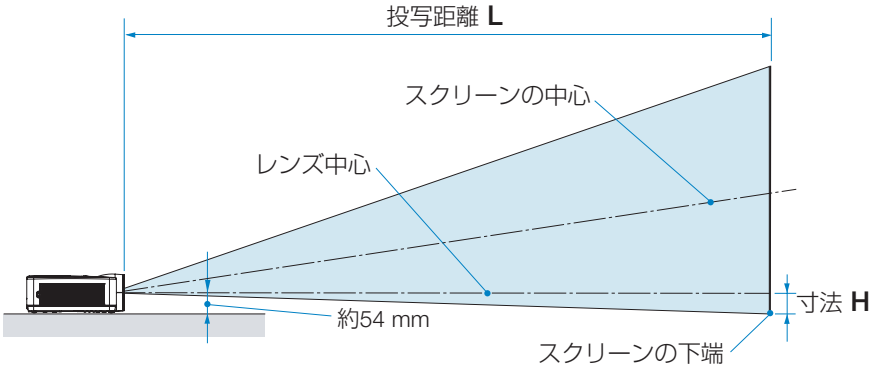
スクリーンサイズ		スクリーンの幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
(型)	(cm)		
30	76	61.0	45.7
40	102	81.3	61.0
60	152	121.9	91.4
80	203	162.6	121.9
100	254	203.2	152.4
120	305	243.8	182.9
150	381	304.8	228.6
180	457	365.8	274.3
200	508	406.4	304.8
240	610	487.7	365.8
270	686	548.6	411.5
300	762	609.6	457.2

デスクトップに設置する場合の例

以下の図は、プロジェクターをデスクトップで使用する場合の例を示しています。

水平投写位置：レンズの中心から左右均等

垂直投写位置： 下表を参照



[参考]

- レンズの中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

適応機種 NP-ME403UJL

スクリーンサイズ（型）	投写距離 L（m）		寸法 H（cm）
	ワイド時	テレ時	
30	0.75	1.24	4.8
40	1.01	1.67	6.4
60	1.55	2.53	9.5
80	2.08	3.39	12.7
100	2.61	4.25	15.9
120	3.15	5.12	19.1
150	3.95	6.41	23.8
180	4.75	7.70	28.6
200	5.28	8.56	31.8
240	6.35	10.28	38.1
270	7.15	11.58	42.9
300	7.95	12.87	47.7

適応機種 NP-ME423WJL

スクリーンサイズ（型）	投写距離 L（m）		寸法 H（cm）
	ワイド時	テレ時	
30	0.76	1.29	4.8
40	1.03	1.74	6.4
60	1.57	2.64	9.5
80	2.11	3.54	12.7
100	2.65	4.43	15.9
120	3.19	5.33	19.1
150	4.00	6.68	23.8
180	4.81	8.03	28.6
200	5.35	8.92	31.8
240	6.43	10.72	38.1
270	7.24	12.07	42.9
300	8.05	13.41	47.7

適応機種 NP-MC393WJL

スクリーンサイズ（型）	投写距離 L（m）		寸法 H（cm）
	ワイド時	テレ時	
30	0.96	1.15	2.9
40	1.28	1.54	3.8
60	1.92	2.31	5.8
80	2.57	3.09	7.7
100	3.21	3.86	9.6
120	3.86	4.64	11.5
150	4.82	5.80	14.4
180	5.79	6.96	17.3
200	6.44	7.73	19.2
240	7.73	9.28	23.0
270	8.69	10.45	25.9
300	9.66	11.61	28.8

適応機種 NP-MC453XJL

スクリーンサイズ（型）	投写距離 L（m）		寸法 H（cm）
	ワイド時	テレ時	
30	0.90	1.08	6.5
40	1.20	1.45	8.7
60	1.81	2.18	13.0
80	2.42	2.91	17.4
100	3.03	3.64	21.7
120	3.64	4.37	26.1
150	4.55	5.47	32.6
180	5.46	6.56	39.1
200	6.07	7.30	43.5
240	7.29	8.76	52.2
270	8.20	9.85	58.7
300	9.11	10.95	65.2

9-2. 対応解像度一覧

ソース欄の「○」はこの形式の入力信号に対応していることを示します。
「-」はこの形式の入力信号に対応していないことを示します。

コンピューター／ HDMI

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	ソース	
				コンピューター	HDMI
720 x 480i, 60Hz	720 x 480i	4:3 / 16:9	59.940	○	-
720 x 480i, 60Hz	720 (1440) x 480i	4:3 / 16:9	59.940	-	○
720 x 576i, 50Hz	720 x 576i	4:3 / 16:9	50.000	○	-
720 x 576i, 50Hz	720 (1440) x 576i	4:3 / 16:9	50.000	-	○
720 x 483, 60Hz	720 x 483 (480P)	4:3 / 16:9	59.940	○	○
720 x 576, 50Hz	720 x 576 (576P)	4:3 / 16:9	50.000	○	○
1280 x 720p, 60Hz	1280 x 720p	16:9	60.000	○	○
			59.940	○	○
1280 x 720p, 50Hz			50.000	○	○
1920 x 1080i, 60Hz	1920 x 1080i	16:9	60.000	○	○
			59.940	○	○
1920x1080i, 50Hz			50.000	○	○
1920x1080p, 24Hz	1920 x 1080p	16:9	24.000	-	○
			23.980	-	○
1920x1080p, 60Hz			60.000	○	○
			59.940	○	○
1920 x 1080p, 50Hz			50.000	○	○
640 x 480, 60Hz	640 x 480	4:3	59.940	○	○
640 x 480, 67Hz			66.667	○	○
640 x 480, 72Hz			72.809	○	○
640 x 480, 75Hz			75.000	○	○
640 x 480, 85Hz			85.008	○	○
800 x 600, 56Hz	800 x 600	4:3	56.250	○	○
800 x 600, 60Hz			60.317	○	○
800 x 600, 72Hz			72.188	○	○
800 x 600, 75Hz			75.000	○	○
800 x 600, 85Hz			85.061	○	○
832 x 624, 75Hz	832 x 624	4:3	74.550	○	○
1024 x 768, 60Hz	1024 x 768	4:3	60.004	○	○
1024 x 768, 70Hz			70.069	○	○
1024 x 768, 75Hz			75.029	○	○
1024 x 768, 85Hz			84.997	○	○
1152 x 864, 70Hz	1152 x 864	4:3	70.020	○	○
1152 x 864, 75Hz			75.000	○	○
1280 x 720, 60Hz	1280 x 720	16:9	59.855	○	○

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）	ソース	
				コンピューター	HDMI
1280 x 768, 60Hz	1280 x 768	16:9	59.870	○	○
1280 x 768, 75Hz			74.893	○	○
1280 x 768, 85Hz			84.840	○	○
1280 x 800, 60Hz	1280 x 800	16:10	59.810	○	○
1280 x 800, 75Hz			74.934	○	○
1280 x 800, 85Hz			84.880	○	○
1280 x 960, 60Hz	1280 x 960	4:3	60.000	○	○
1280 x 960, 75Hz			75.080	○	○
1280 x 1024, 60Hz	1280 x 1024	5:4	60.020	○	○
1280 x 1024, 65Hz			65.180	○	○
1280 x 1024, 72Hz			71.970	○	○
1280 x 1024, 75Hz			75.025	○	○
1280 x 1024, 85Hz			85.024	○	○
1360 x 768, 60Hz	1360 x 768	16:9	60.020	○	○
1366 x 768, 60Hz	1366 x 768	16:9	59.799	○	○
1400 x 1050, 60Hz	1400 x 1050	4:3	59.978	○	○
1400 x 1050,7 5Hz			74.867	○	○
1440 x 900, 60Hz	1440 x 900	16:10	59.887	○	○
1600 x 900, 60Hz	1600 x 900	16:9	60.000	○	○
1600 x 1200, 60Hz	1600 x 1200	4:3	60.000	○	○
1680 x 1050, 60Hz	1680 x 1050	16:10	59.954	○	○
1920 x 1200, 60Hz	1920 x 1200	16:10	59.950	○	○
3840 x 2160, 30Hz	3840 x 2160	16:9	30.000	-	○

ビデオ

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
NTSC	NTSC	4:3	59.940
NTSC-443	NTSC 4.43	4:3	
PAL-60	PAL60	4:3	
PAL-M	PAL-M	4:3	
PAL	PAL	4:3	50.000
PAL-N	PAL-N	4:3	
SECAM	SECAM	4:3	

9-3. 仕様

型名			NP-ME403UJL	NP-ME423WJL	NP-MC393WJL	NP-MC453XJL
方式			三原色液晶シャッター投映方式			
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	0.64 型（16.3 mm）× 3 枚、MLA 付き、アスペクト比 16:10)		0.59 型（15.0 mm）× 3 枚、MLA 付き、アスペクト比 16:10)	0.63 型（16.0 mm）× 3 枚、MLA 付き、アスペクト比 4:3)
		画素数 (*1)	2,304,000 画素（1920 ドット× 1200 ライン）	1,024,000 画素（1280 ドット× 800 ライン）		786,432 画素（1024 ドット× 768 ライン）
	投写レンズ		F=1.5 ～ 2.1、f=17.2 ～ 27.7mm、ズーム比率 =1.6	F=1.7 ～ 2.2、f=17.4 ～ 29.0mm、ズーム比率 =1.7	F=1.6 ～ 1.8、f=19.2 ～ 23.0mm、ズーム比率 =1.2	F:1.6~1.8、f=19.2 ～ 23.0mm、ズーム比率 =1.2
		ズーム	マニュアル			
		フォーカス	マニュアル			
	ランプ	ブースト	240 W			
		ノーマル	225 W			
		ECO1	180 W			
		ECO2	150 W			
	光学装置		ダイクロイックミラーによる色分離、クロスプリズムによる合成方式			
明るさ (*2) (*3)		ブースト	4000 lm	4200 lm	3900 lm	4500 lm
		ノーマル	3700 lm	4000 lm	3600 lm	4200 lm
画面サイズ（投写距離）			30 ～ 300 型（0.8～12.9 m）	30 ～ 300 型（0.8 ～ 13.5 m）	30 ～ 300 型（1.0 ～ 11.6 m）	30 ～ 300 型（0.9 ～ 11.0 m）
色再現性			10 ビット カラープロセッシング（約 10 億 7000 万色）（USB-A（ビューワー）、LAN：1670 万色）			
走査周波数		水平	15 ～ 100 kHz（コンピューター入力は 24 kHz 以上）			
		垂直	24 ～ 85 Hz			
最大表示解像度			アナログ：1920 × 1200 デジタル：3840 × 2160			
入出力端子	コンピューター/コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1 RGB:0.7Vp-p / 75 Ω H/V Sync:4.0Vp-p/TTL Composite Sync:4.0Vp-p/TTL Y: 1.0Vp-p / 75 Ω（With Sync） Cb,Cr（Pb,Pr）: 0.7Vp-p / 75 Ω			
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1			
		音声入力	ステレオミニジャック× 1 0.5Vrms / 22k Ω以上			

入出力端子	HDMI	映像入力	HDMI® タイプ A × 2（DeepColor、LipSync） HDCP 対応 (*4)	
		音声入力	HDMI®（LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48kHz）	
	ビデオ	映像入力	RCA × 1	
		音声入力	RCA（RCA L/R）× 1	
	音声出力		ステレオミニジャック× 1（全信号共通）	
	LAN		RJ-45 × 1、10BASE-T/100BASE-TX 対応	
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0 V/1.5 A	
	サービス		USB タイプ B × 1	
制御入出力端子				
	PC コントロール		D-Sub 9 ピン× 1、RS232C	
スピーカー			16 W モノラルスピーカー内蔵	
使用環境		動作温度	5 ～ 40 ℃ (*5)	
		動作湿度	20 ～ 80 %（ただし、結露しないこと）	
		保存温度	− 10 ～ 50 ℃	
		保存湿度	20 ～ 80 %（ただし、結露しないこと）	
		動作高度	0 ～ 3000 m（1700 ～ 3000 m は高地モード「オン」）	
電源			AC 100 V 50/60 Hz	
消費電力（動作時）				
→エコモード		ブースト	335 W	320 W
		ノーマル	315 W	305 W
		ECO1	260 W	250 W
		ECO2	225 W	215 W
消費電力（スタンバイ時）				
→スタンバイモード		ノーマル	0.2 W	
		ネットワークスタンバイ	0.7 W	
定格入力電流 (*6)			3.4 A	3.3 A
外形寸法		突起部含む	345（幅）× 113.5（高）× 284.5（奥行）mm	345（幅）× 108.4（高）× 261（奥行）mm
		突起部含まず	345（幅）× 104.6（高）× 261（奥行）mm	
質量			3.6 kg	3.3 kg

(*1)：有効画素数は 99.99%です。

(*2)：JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(*3)：エコモードが「ノーマル」または「ブースト」、イメージモードが「ダイナミック」のときの明るさです。
エコモードを「ECO1」または「ECO2」にすると明るさが低下します（ECO1：ブースト時の約 75%、ECO2：ブースト時の約 63%）。また、イメージモードで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*4)：HDCP/HDCP 技術とは？
HDCP とは“High-bandwidth Digital Content Protection”の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本機の HDMI 1 および HDMI 2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。
ただし、HDCP の規格変更などがされた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。
映像：DeepColor (ディープカラー：色深度): 8/10/12 ビット、LipSync
音声：LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数：32/44.1/48kHz、
サンプリングビット：16/20/24 ビット
バージョン：HDCP 1.4 に対応

(*5)：35℃以上では「強制エコモード」になります。

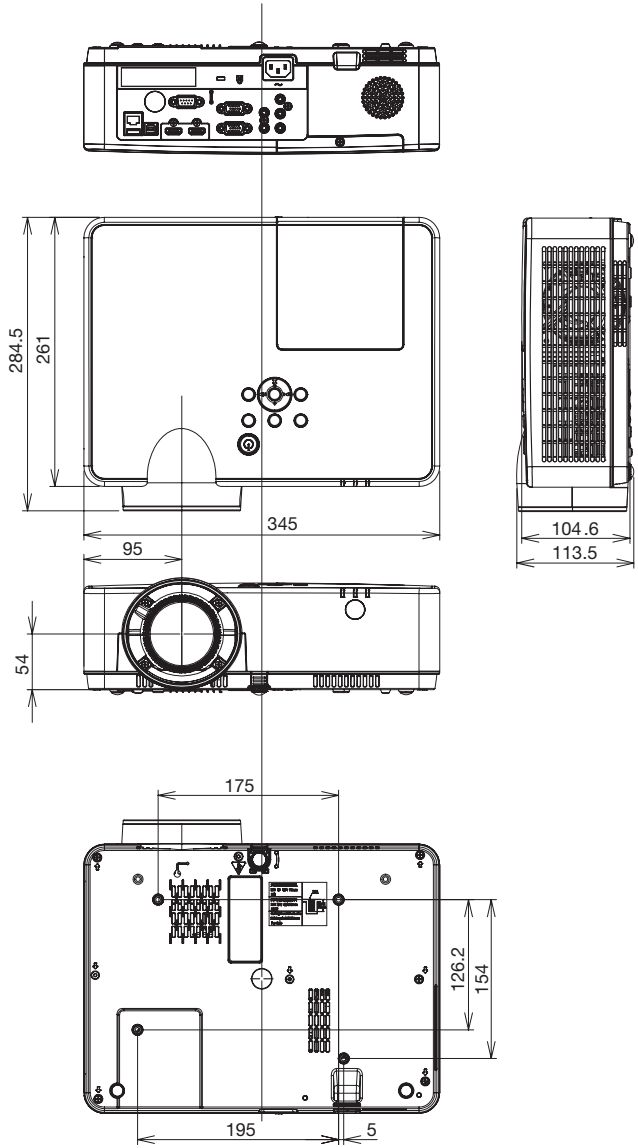
(*6)：高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

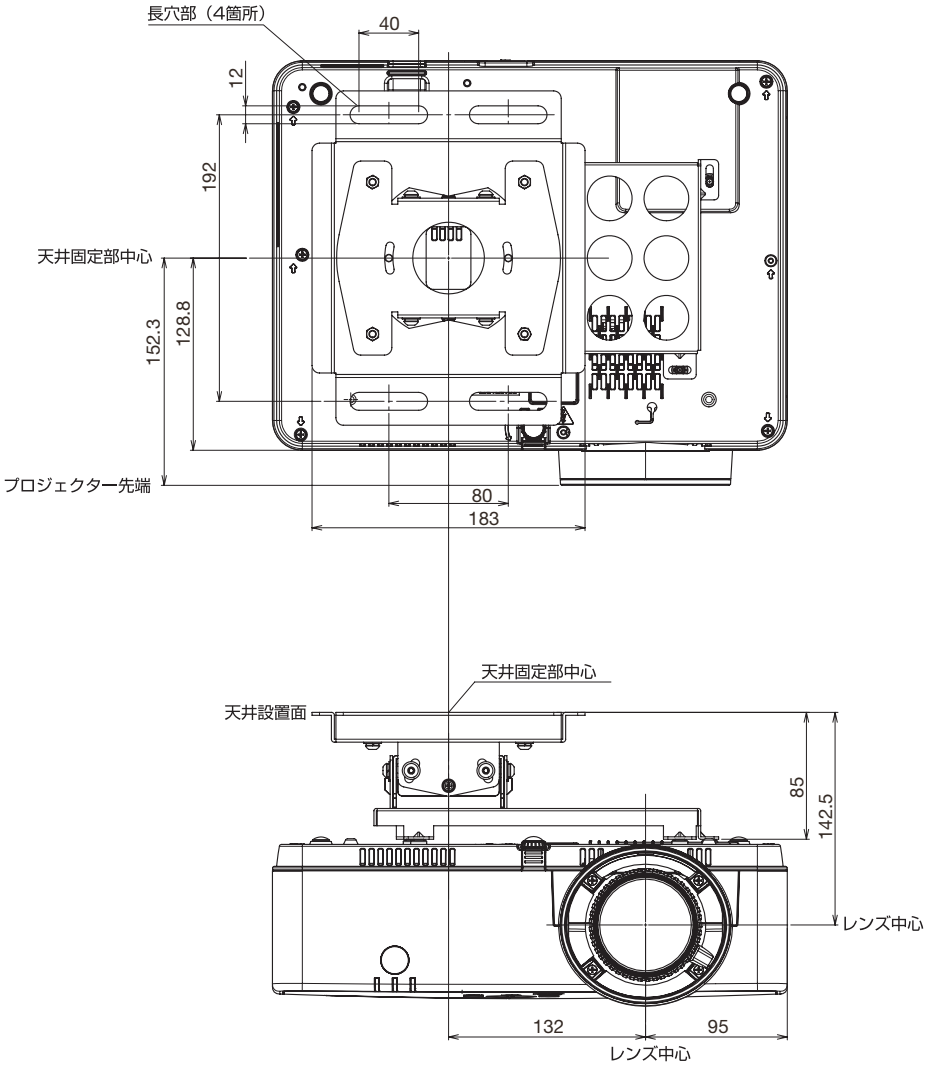
9-4. 外観図

適応機種	NP-ME403UJL

単位：mm

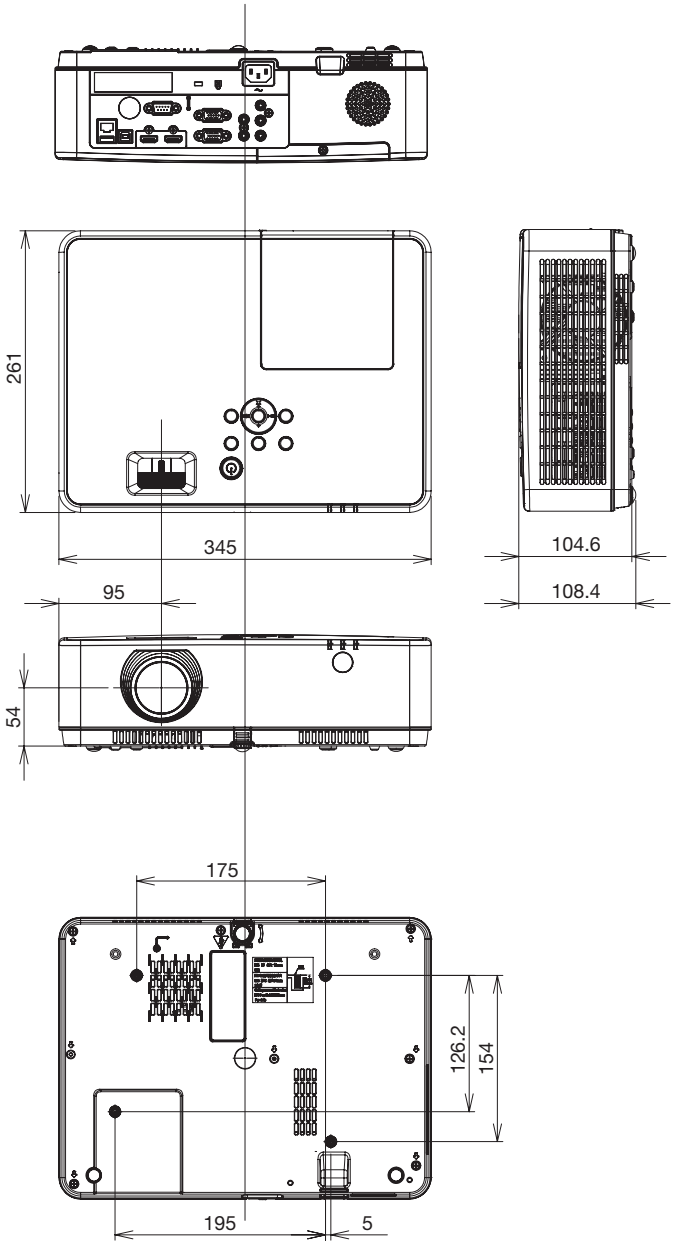


天吊り金具（別売）取り付け図

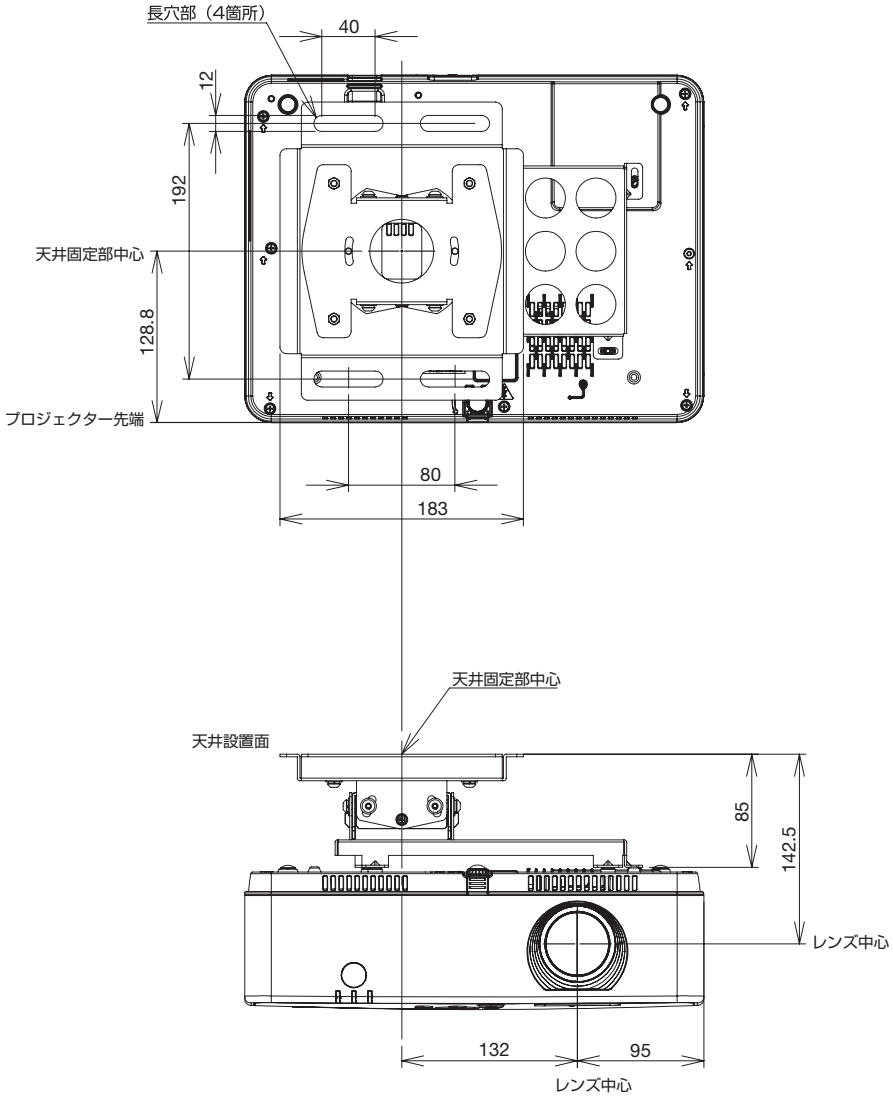


適応機種 NP-ME423WJL / NP-MC393WJL / NP-MC453XJL

単位 :mm



天吊り金具（別売）取り付け図



9-5. ASCII コントロールコマンドについて

本機は、当社のプロジェクターまたはディスプレイを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。
共通 ASCII コントロールコマンドの詳細は当社ホームページをご覧ください。
https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html

外部機器との接続方法

プロジェクターとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

① シリアルポートを使用した接続

シリアルケーブル（クロスケーブル）を使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

② ネットワーク（LAN）経由での接続

LAN ケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。
使用する LAN ケーブルの種類（ストレート／クロス）については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

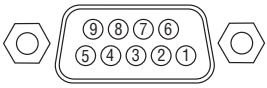
① シリアルポートを使用した接続

本機の PC コントロール端子（D-Sub9 ピン）に接続します。
通信条件

項目	詳細
ボーレート	4800 / 9600 / 19200 / 38400 bps
データ長	8 ビット
パリティビット	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし
通信手順	全二重

本機の PC コントロール端子のピン配列と信号名

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	未使用	6	未使用
2	RxD　受信データ	7	RTS　送信要求
3	TxD　送信データ	8	CTS　送信可
4	未使用	9	未使用
5	接地		



② ネットワーク（LAN）経由での接続

通信条件（LAN による接続）

項目	詳細
伝送速度	自動設定（10 / 100M bps）
対応規格	IEEE802.3（10BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX, Auto-Negotiation）

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

本機で使用するパラメーター

● input コマンド

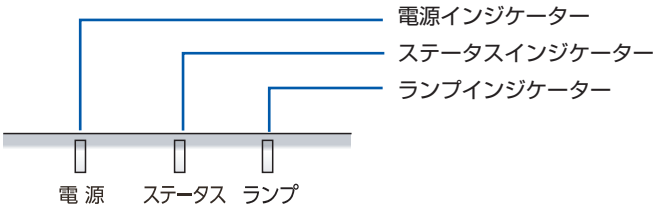
入力端子	レスポンス	パラメーター
コンピューター	computer	次の 3 つの文字列のいずれか computer , vga , rgb
HDMI1	hdmi1	hdmi1
HDMI2	hdmi2	hdmi2
ビデオ	video	video
USB-A	usb-a	usb-a
LAN	lan	lan

● status コマンド

レスポンス	本機の状態
error:temp	温度エラー
error:fan	ファン異常
error:light	光源異常
error:system	システム異常

9-6. インジケーター表示一覧

本体操作部の 3 つのインジケーターが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



通常のインジケーター表示

電源	ステータス	ランプ	本機の状態
（消灯）	（消灯）	（消灯）	電源がオフ状態
オレンジ色（長い点滅）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」）
オレンジ色（点灯）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」）
オレンジ色（点滅）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態（スタンバイモードが「スリープ」）
青色（点灯）	（消灯）	緑色（点灯）	電源オン状態（エコモードが「ノーマル」または「ブースト」）
青色（点灯）	（消灯）	緑色（点滅）	電源オン状態（エコモードが「ECO1」または「ECO2」）
緑色（短い点滅）	（消灯）	（消灯）	本体の冷却中
緑色（点灯）	（消灯）	（消灯）	待機モード（→ 80 ページ）

異常時のインジケーター表示

電源	ステータス	ランプ	本機の状態
青色（点灯）	オレンジ色（点灯）	（各状態）	キーロック中に本体のボタンを押したとき
			プロジェクターとリモコンの ID 番号が一致しないとき
青色（点滅）	（消灯）	緑色（点滅）	ランプが点灯に失敗したあとの再点灯の準備中です。しばらくお待ちください。
（各状態）	（消灯）	オレンジ色（短い点滅）	ランプ交換の猶予時間（約 300 時間）中です。すみやかに新しいランプと交換してください。（→ 106 ページ）
（各状態）	（消灯）	赤色（短い点滅）	ランプ交換時期を超過しています。ただちに新しいランプと交換してください。（→ 106 ページ）
赤色（短い点滅）	（消灯）	（消灯）	温度エラーを検出しました。吸気口および排気口がふさがれていないか確認してください。
赤色（点灯）	（その他の状態）	（その他の状態）	ハードウェアの異常です。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
赤色（点滅）	（その他の状態）	（その他の状態）	

●温度プロテクターが働いたときは

プロジェクター内部の温度が異常に高くなると、電源インジケーターが赤色で短く点滅します。
その後、プロジェクターの温度プロテクター機能が働いて、プロジェクターの電源が切れることがあります。
このようなときは、以下のことをしてください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。（→ 101 ページ）
- プロジェクター内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

9-7. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	36
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	109
	ランプ固定のネジがゆるんでいませんか。	109
	ランプ交換時間（目安）※を超えて使用していませんか。新しいランプに交換してください。 ※ランプ交換時間は、保証時間ではありません。	106
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	―
	標高約 1700m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューの高地モードで「オン」を選択してください。 高地で本機を使用する場合に高地モードで「オン」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプが消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	69
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	―
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのパワーマネージメントを「待機」または「シャットダウン」にしていませんか。	80

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力切替ボタンを押して一度他の入力に切り替えたあと、再度入力切替ボタンを押して投写する入力を選択してください。	39
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	88
	AV ミュートボタンが押されていませんか。	51
	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	122
	コンピューター信号（RGB）の場合、正しく画面調整をしていますか。	62
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、139 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任において作業していただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	—
	それでも解決しない場合は、オンスクリーンメニューの「初期設定」をしてみてください。	84
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときは高地モードを「オン」に設定してください。	69
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が歪む	正しく設置されていますか。	42
	台形状に歪む場合は台形補正をしてください。	46
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	43
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	113 ～ 116
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	119 ～ 121
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	―
映像の画質が悪い	コンピューター信号（RGB）の場合、自動調整ボタンを押してください。	41
画面がちらつく	オンスクリーンメニューの高地モードで「オン」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。	69
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	―
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	―
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピューター信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	62
	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	122
HDMI 入力信号が正常に投写されない	HDMI 信号レベルを正常に判別できていない可能性があります。HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続してる機器の信号レベルを確認して、オンスクリーンメニューの「HDMI セットアップ」の「画像」設定を切り替えてください。	71
コンピューター入力信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている	自動調整ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのトラッキングと水平サイズを調整してください。	41 62

このようなとき	確認してください	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	33
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	32
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	33
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	33
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、ID 番号が一致していないリモコンから本機を操作できなくなります。	82
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	133
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。その後約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	ー

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。
特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

[参考]

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

  【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC
Fn + F8	DELL

  ※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定をします。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整をしても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作をすると、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

9-8. トラブルチェックシート

発生頻度 □常時 □時々（　　回中　　回） □その他(　　)

電源関係

□ 電源が入らない（電源インジケーターが青色に点灯しない）。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ ⏻ボタンを押しても電源が入らない。
- □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
- □ ランプ交換をした場合、ランプカウンターをリセットした。

□ 使用中、電源が切れる。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ パワーマネージメントは「オフ」に設定されている。
- □ ランプカバーは正しく取り付けられている。

映像・音声関係

□ コンピューターの画面が投写されない。
- □ コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。
- □ ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。

  Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピューターによって異なります）。

□ 映像が出ない（ブルーバック ・ 表示なし）。
- □ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
- □ 「初期設定」を実行してもなおらない。
- □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
- □ 画面に何かメッセージが出ている。
  （　　）
- □ 接続している入力を選択している。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。

□ 映像が暗い。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。

□ 映像が歪む。
- □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。

□ 映像が切れる。
- □ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
- □ 「初期設定」を実行してもなおらない。
- □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
- □ コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 数ドット欠けている。

□ 映像がちらつく。
- □ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
- □ 「初期設定」を実行してもなおらない。
- □ コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
- □ 高地モードを「オン」から「オフ」にしてもなおらない。

□ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。

□ 音声が出ない。
- □ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
- □ 音量を調整してもなおらない。

その他

□ リモコンが利かない。
- □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
- □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □ プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。

□ 本体操作パネルのボタンが利かない。
キーロック設定のある機種において
- □ キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

型名 : ☐ **NP-ME403UJL**
☐ **NP-ME423WJL**
☐ **NP-MC393WJL**
☐ **NP-MC453XJL**

製造番号 :

購入時期 :

ライト使用時間 :

エコモード : ☐ノーマル ☐エコ

入力信号情報 :

水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H ☐(+) ☐(−)
V ☐(+) ☐(−)
同期形態 ☐セパレート ☐ミックス
☐Gシンク

ステータスインジケーターの状態
点灯（オレンジ・緑）
点滅（　回周期）

設置環境

スクリーンサイズ : 型
タイプ : ☐ホワイトマット ☐ビーズ ☐偏光
☐広視野角 ☐ハイコントラスト

投写距離 : m

投写方法 : ☐天吊り ☐床置き

電源コンセントは？
☐壁からのコンセントを直接利用している。
☐電源用テーブルタップを利用している。
（他、接続機器の数 :　台）
☐電源ドラム（ロール式）を利用している。
（他、接続機器の数 :　台）

コンピューター

メーカー :

型名 :

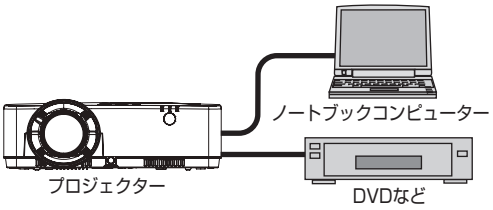
ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型

解像度 :

リフレッシュレート :

ビデオボード :

その他 :



信号ケーブル

純正・その他
（型名 :　長さ :　m）
分配器
型名 :
スイッチャー
型名 :
アダプター
型名 :

接続機器

ビデオ ・ DVD ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー :

型名 :

9-9. 別売品

商　品　名		型　名
ランプ	交換用ランプ	NP47LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP12CM
無線 LAN ユニット		NP05LM3

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。（ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター･カスタマサポートセンター（→次ページ）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→ 135 ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（→ 141 ページ , 142 ページ）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター･カスタマサポートセンターにご連絡ください。

● 修理形態

保証書をご覧ください。

● 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
型名	NP-ME403UJL NP-ME423WJL NP-MC393WJL NP-MC453XJL
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	法人名、ご担当社名
電話番号	

お買い上げ店名 および電話番号	

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL 0120-610-161 **FAX 0120-134-516**

受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHSからでもご利用いただけます。

ホームページ https://www.sharp-nec-displays.com/jp/support/projector/

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社